

令和4年度  
上宮太子高等学校  
学校評価関係

1. 建学の精神・教育目標・中期的目標
2. 規定
3. 各部署の年間計画及び重点目標
4. 各部署の中間報告
5. 各部署の総括
6. 授業アンケート分析
7. 保護者アンケート分析
8. 学校評価に関する報告書
9. 学校関係者評価に関する報告書

## 1 建学の精神

本学園は浄土宗を母体とし、法然上人の仏教精神を教育の根底におく学校である。知育・徳育・体育のバランスのとれた全人教育をおこない、慈悲の精神を育てることを目標とする。

校訓「正思明行」は、高校生として生徒一人一人が、人間としてあるべき生き方と真理を探究する正しい心の眼と意思を持ち、理想を求めて主体的に行動することを説いている。

また、学順「一に掃除・二に勤行・三に学問」とは、校訓を実現させるための具体的な行動を示している。「掃除」とは文字通り身の環境美化を意図するとともに、学ぶ心の準備を意味する。「勤行」とは勤勉実行を意味する。それは一生を通して求められる生活の行動指針であり、学校生活では学業や課外活動にも規範意識を持って精進努力することであり、社会人となれば強い勤労意欲を持つことである。「学問」は勤行から得られる知識と健康な心身を土台として、未知への探究心や自らの疑問を解決する能力としての智慧を養うことである。すなわち、先ず心を清めて素直な心がけを第一とし、次に己が身の力の限り努力して勉学に勤しめば、学問は自ずと身に備わり、その真価を発揮できることを示している。

## 2 教育目標（目指す学校像）

- ① 仏教精神に基づく幅広い人間教育をおこなう。
- ② 勉学精進による英才開発、育成をめざす。
- ③ 豊かな自然と歴史に包まれた教育環境の中で、バランスのとれた人格を養う。
- ④ 人を思いやり、人に愛され、また信頼され、社会に貢献できる人づくりをめざす。

## 3 中期的目標

- ① 礼節を重んじ、常識を身に着け、生きる力を養う
- ② 細やかな指導により学力を向上させ、各コースからの大学合格者数の数値目標や英検の取得目標を実現させる
- ③ 各教科が授業力向上のための研究
- ④ 生徒の愛校心の向上
- ⑤ 受験者数の安定的確保に向けての広報活動
- ⑥ 健全かつ安定的な財務・経営をめざす

## 上宮太子高等学校 学校評価に関する規定

平成 23 年 3 月 17 日 制定

令和 4 年 6 月 24 日 改定

### (趣旨)

第 1 条 この規定は、学校教育法施行規則第 66 条及び第 67 条に基づき、学校法人上宮学園が設置する上宮太子高等学校における教育活動その他学校運営状況に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (目的)

第 2 条 学校法人上宮学園が設置する上宮太子高等学校（以下「学校」という。）が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき成果やそれに向けた取り組みの目標を策定し、その達成状況を検証かつ評価することにより改善を図り、学校教育の質的向上に資するために必要な事項を定めるものとする。

### (学校評価)

第 3 条 学校評価は、自ら行う自己評価ならびに保護者及びその他の関係者が、学校の自己評価の結果を踏まえて評価する学校関係者評価とする。

第 4 条 自己評価の改善方策の実施のため、学校に学校評価委員会を設置する。

2 学校評価委員会は、自己評価及び学校関係者評価の計画・立案・進行管理・改善策及び結果の公表を行う。

### (学校評価委員会)

第 5 条 学校は、第 3 条に定める自己評価のため、学校長、学校参事、教頭、事務長、教務部学校評価係を委員とする学校評価委員会を設置する。

2 学校長は、委員長として学校評価委員会を主宰する。学校評価係は、委員長を補佐し学校評価委員会の会務を推進する。

### (自己評価項目)

第 6 条 学校における学校評価委員会は、学校の教育目標に基づき、長・中期及び単年度の重点目標並びに教育活動その他の学校運営に係る評価領域・項目を定める。

2 自己評価を実施するについては、生徒による授業評価、生徒及び保護者に対する学校評価外部アンケートの調査結果も活用する。

(学校関係者評価)

第7条 学校における学校関係者評価委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。人数は5名程度とする。

- (1) 保護者会役員の中から学校長が委嘱する委員
- (2) 学校卒業生の中から学校長が委嘱する委員
- (3) その他、必要に応じて学校が選出する委員

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

3 学校における学校関係者評価委員会に委員長を置く。

4 学校における学校関係者評価委員会の委員長は、当該学校関係者評価委員会の会務を総理する。

5 学校における学校関係者評価委員会は、学校の学校運営の改善に資するための必要な助言を付して、自己評価に対する検証結果を学校長に報告する。

6 学校における学校関係者評価委員会が必要と認めたときは、第7条第1項各号に定める委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

7 委員は、その職務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。その職を退いた後も同様とする。

(評価結果の報告)

第8条 学校評価委員会の委員長は、自己評価及び学校関係者の評価結果と今後の改善方策をまとめ、学園の理事会(理事長)に提出するものとする。

(評価結果の公開)

第9条 学校評価委員会の委員長は、自己評価及び学校関係者の評価結果の一部を、ホームページ等で外部に公開するものとする。

(事務の所管)

第10条 この規定に関する事務は、学校の学校評価委員会が行う。

附 則

1 この規定は、平成23年3月18日から施行する。

2 第5条を、校務分掌の一部見直しにより令和4年6月24日に改訂する。

3 この改正規定は、令和4年7月1日より施行する。

令和4年度  
学校評価に関する  
各部署の重点目標

上宮太子高等学校  
学校評価委員会

部署名	教務部	担当者	田中 良和
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい教育活動（50分授業及び新教育課程の観点別学習状況評価等）導入期のシステム確立</li> <li>・ 教務クラウドシステムの円滑な運営</li> <li>・ 労働時間の遵守及び就業システムを円滑に運営するため、事務所・総務との連携</li> <li>・ 考査規定・5段階基準等の教務内規の再検討</li> <li>・ コロナ禍においても充実した教育活動・行事の実施に向けた企画・運営・検討</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教務内規の再検討</li> <li>・ 国際理解教育の推進</li> <li>・ 有効な指導体系の継続検討</li> </ul>

### 2. 令和4年度の実行計画 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>(1) 教務運営システムの整備・効率化</p> <p>① 学校行事の確実な実施と改良            ※入念な準備, 実施要項作成            ※実施資料(改善点等記録含)の整理・保存・次年度への引継ぎ等</p> <p>② 教務各係の業務内容の点検・整備</p> <p>③ 教務内規の精査・改定・整備            ※確定規定の明文化と職員周知</p> <p>④ 新しい教務クラウドシステムの円滑な運営</p> <p>(2) 有効な指導体系の継続検討</p> <p>⑤ 新カリキュラム導入に向けた校内整備</p> <p>⑥ ICTの導入による新しい教授法の検討</p> <p>(3) 国際理解教育の推進</p> <p>⑦ 社会の動きに併せながら対応をしていく</p> <p>(4) オンライン授業の準備</p> <p>⑧ コロナ禍での臨時休校時も学びを止めないために ICT 教育推進室と連携の上で整備を進める</p>			

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
 [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	生徒指導部	担当者	尾山 友昭
-----	-------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<b>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</b>			
教育相談	1 教職員への啓発・発信	2 スクールカウンセラーと教職員との連携	3 教育相談室の活用
生徒会	1 生徒会活動の活性化	2 委員会活動の活性化	3 広報活動 4 クラブ活動の活性化
生活指導	1 校訓「正思明行」・学順の実践、規範意識の向上		2 生徒指導の推進と問題行動の予防強化
	3 道徳意識、規範意識の向上（頭髪服装検査強化）		4 いじめ・不登校、配慮を要する生徒への取り組み
	5 生徒の愛校心向上		
<b>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</b>			
教育相談	悩みをもつ生徒が、楽しく学校生活が送れるようにする。		
生徒会	生徒主導による各種活動		
生活指導	事故がなく安心して生活できる学校づくり		

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<b>教育相談</b> 1. 研修会への参加、そして報告 「不登校を考える会」等からの資料プリントの配布 2. カウンセリング希望者との日程・時間等の予約の調整 カウンセリングを受けた生徒（保護者）の状況を把握 スクールカウンセラーによる教職員への研修会開催 3. 担任・学年・係を中心に取り組む 4. 予約・報告書を紙媒体からデータへ移行 <b>生徒会</b> 1. 生徒が主体的に動ける行事の運営・学校づくり（体育大会・上宮祭運営、生徒議会の開催、規範意識の向上等） 2. 委員会活動の活性化 3. 広報活動（入試説明会・オープンキャンパス（UT フェスタ）地域行事参加） 4. クラブ生を主体とした学校の活性化 5. インターアクトクラブの活動活性化 <b>生活指導</b> 1. 校訓「正思明行」・学順の実践、規範意識の向上のための取り組み 2. 教員による一律指導を目指し、実践内容を改訂・明確化 大阪私学連盟で得た情報を校内に生かす取組みの実施 3. 頭髪服装検査を実施し、生徒心得遵守を促す 4. 「いじめ防止基本方針」・「行動計画」を改定・明確化 不登校、配慮を要する生徒の把握と適宜の対応を検討 5. 生活委員会の活動を活性化			

※**遂行度**： 各項目の進捗状況 / **達成度**： 各項目の達成・評価状況

※**評価基準**： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
                   C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

部署名	進路指導部	担当者	福田和憲
-----	-------	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

(短期目標) ※本年度に取り組む目標	
I. 進学実績の目標達成	II. 基礎学力の向上
III. 「iPad が動く学校」の展開への意欲的な挑戦	
(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標	
IV. 主体性を育む教育	V. 戦略的改革

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<b>【進路企画関係】</b> I. 進学実績の目標達成 (高校3年) a 国公立大学20以上合格 b 関関同立18以上合格 c 産近甲龍100以上合格 II. 基礎学力の向上 (高校1年・2年) d 進研模試偏差値52以上を学年の2割以上 e 進研模試偏差値46以上を学年の5割以上 f 模試の事前・事後指導、結果分析 g 家庭学習の推進 <b>【ICT教育推進関係】</b> III 「iPad が動く学校」の展開への意欲的な挑戦 h Google、Microsoft のプラットフォーム整備 i iPad の新しい使用法の模索 j 先生方の iPad 使用を進める k 緊密な情報共有による相互サポート <b>【探究関係】</b> IV. 主体性を育む教育 l 探究活動の推進 (高校1年・2年) <b>【全体】</b> IV. 戦略的改革 m 生産性の高い進路指導体制構築 n アクティブラーニングの研究と啓蒙 o 先生方を巻き込んだ学校全体の意識改革			

※**遂行度**： 各項目の進捗状況 / **達成度**： 各項目の達成・評価状況

※**評価基準**： { A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった    B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
                   C あまり進んでいない / あまり成果がでていない    D 進んでいない / できていない }

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入



部署名	入試対策部	担当者	佐々木 哲也
-----	-------	-----	--------

## 「よりすばらしい上宮太子中・高にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月末までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1) 受験者数確保に向けての広報活動</p> <p>(2) 効果的な広報物を制作・活用</p> <p>(3) 情報の収集・共有化</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p style="text-align: center;">受験者数の安定的確保</p>

### 2. 令和3年度の取り組み内容 ※内容は4月末までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>(1) 受験者数確保に向けての広報活動</p> <p>昨年度目標と同様に、受験者数 200 を確保するためには、昨年度よりも、もっと多くの保護者、生徒、塾・中学の先生に、上宮太子の名前と良さを案内し、知ってもらうことが必要。</p> <p>① 主要な公立中学校や塾などへの訪問回数を増やす。 特に 11 月には、中学・塾にラインの最終確認を徹底する。</p> <p>② 受験生や保護者に直接的にアプローチをする。 そのためには、中学・塾主催の生徒・保護者対象説明会に参加させてもらえるよう働きかける。</p> <p>③ 校内に足を運んでもらうことが一番大事なので、校外説明会で会った生徒・保護者や、毎週土曜日に実施する Zoom における Online 説明会で申し込みのあった生徒に対して、是非とも学校見学に来てもらえるよう働きかける。</p> <p>(2) 効果的な広報物を制作・活用</p> <p>上宮太子への興味関心を持ってもらうには、ホームページやパンフレット、リーフレットなどが重要となる。広報係との連携のうえ効果的な広報物を制作し募集活動に活用する。</p> <p>① 三つ折りリーフを主要な中学の全生徒に配布することで上宮太子を認知し、興味を持ってもらう。</p> <p>② ICT ツールを活用した広報活動を行う。</p> <p>③ 上宮太子の紹介動画と高1生の紹介写真を、主要な中学に持参し、掲示してもらい、後輩たちに見てもらうことで興味を持ってもらう。</p> <p>(3) 情報の収集・共有化</p> <p>世間のニーズに合わせて、上宮太子の良さをアピールし、効果的な広報活動をする必要がある。</p> <p>情報収集と情報の共有化を図り、教職員一丸となって広報活動が行えるようにする。</p> <p>① 校外で知り得た情報を定期的に先生方へ伝え、校内では生徒たちの様子や、日常における些細な行動などの情報などもこまめに収集し塾・中学に伝え、面倒見の良さをアピールする。</p> <p>② 上宮高校や上宮学園中学校との情報共有を発展させ、3校で連携をとり、学園全体で広報活動を行う。</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： { A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない }

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	国 語 科	担当者	福 田 和 憲
-----	-------	-----	---------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新課程教授法の研鑽 および共通テスト、私立大学入試研究の継続的な研鑽</li> <li>・ICT 機器を活用した、生徒との双方向のやりとりを実現する授業形態の模索</li> <li>・生徒たちが国語を積極的に学びたいと思えるような「生徒目線」での関わり</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テスト平均点(特進I類) 文系7割5分、理系6割5分以上</li> <li>・国語科全教員による、新課程の指導要領に沿った双方向のやりとり、表現力の育成を中心とした新しい授業形態の確立および共有</li> </ul>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>1、 授業改革による生徒の読解力・表現力の向上</p> <p>① 生徒の学習定着をはかるための方策研究</p> <p>② 読解トレーニングと読解力向上への取り組み</p> <p>③ 職員同士での国語力向上についての意見交換</p> <p>2、 各学年での学習指導内容の研究</p> <p>①特進I・II類</p> <p>模擬試験・大学入試問題等を使用して生徒の到達度を確認 →共通テスト、国公立の大学入試に即応できる実力養成 難関私立大学への進学を視野に入れた実力養成</p> <p>②総合進学</p> <p>→推薦入試への対応 小論文対策</p> <p>→公募制推薦・一般入試に向けた対策 学習指導内容の改善 新学習指導要領に向けた授業改革</p> <p>→アクティブラーニングの研究、授業への導入</p> <p>→ロイノートを中心とした、Ipad 活用法を研究した授業展開</p> <p>3、 教員の研修活動への参加、教科へのフィードバック</p> <p>① 予備校・大学主催の研修会などへの積極的な参加 →入試の現状把握、教員のスキルアップ</p> <p>② 教科への研修活動のフィードバック →教科会での参加活動報告、または勉強会開催</p> <p>③「新課程研修会」「記述講座」「研究授業」など、教科内の教員による勉強会の実施</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

部署名	社会科	担当者	松井 康浩
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1)授業の厳正化と社会科としての強化  (2)教科会の活性化  (3)大学入試問題の研究  (4)新カリキュラムへの対応と共に ICT の活用の在り方の研究</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標  新カリキュラムへの対応と共に ICT の活用の在り方の研究</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>(1)①「立腰」から始まる授業に集中できる雰囲気づくりをする  ②社会科の授業が好きになる工夫をする  ③特進コースは平均偏差値 60 以上、総合進学コースは平均偏差値 50 以上をめざす  ④授業アンケートを意識した授業を実施し、総合評価で 80%を上回る  ⑤社会科に関する研修会などへの積極的な参加。  ⑥高校3年生における社会科を入試で捨てさせない意識付け</p> <p>(2)①教科会の可能な限りの実施と科目間の連携  ②授業見学会実施  ③思考力・判断力・表現力を意識した新課程研究</p> <p>(3)①大学入学共通テスト、難関私立大学等の入試問題を研究し、高得点につながる科目担当者による研究</p> <p>(4)①新カリキュラムへ向けての研鑽  ②ICT 活用の在り方を研究</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	数学科	担当者	茶田 昌蔵
-----	-----	-----	-------

## 「より素晴らしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の厳正化</li> <li>2. 数学力の向上</li> <li>3. 教科会の活性化</li> <li>4. 研修への積極的な参加</li> </ol>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特進Ⅰ類, 特進Ⅱ類, 総合進学各コースにおける指導方針の統一</li> <li>2. 理系進学希望者の増強</li> <li>3. 理系大学進学率の向上</li> </ol>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の厳正化               <ol style="list-style-type: none"> <li>①個々のより深い教材研究と教材の共有</li> <li>②研究授業の実施</li> <li>③各コースの特性を見据えた指導計画と実践</li> </ol> </li> <li>2. 数学力の向上               <ol style="list-style-type: none"> <li>①家庭学習定着のための内容・量の適正化と推進</li> <li>②各学年の偏差値2ポイントアップを目指した模擬試験対策およびやり直しの徹底</li> <li>③能力に応じた補習、講習の実施</li> <li>④大学入試問題の研究・研修と生徒への還元</li> <li>⑤特進Ⅰ類コースの国公立大合格率向上</li> <li>⑥特進Ⅱ類コースの関関同立大学合格率向上</li> <li>⑦総合進学コースの一般入試合合格率向上 (指定校・学校推薦型入試を有効活用するとともに、一般入試に対応できる学力をつける)</li> </ol> </li> <li>3. 教科会の活性化               <ol style="list-style-type: none"> <li>①連絡の徹底と教科内の共通認識</li> <li>②教科における情報交換と研修</li> </ol> </li> <li>4. 研修への参加               <ol style="list-style-type: none"> <li>①アクティブラーニングやICTについての研修を受け、教授法を学び教科会で検討、導入していく。</li> <li>②新学習指導要領によるカリキュラム構成, 評価方法を研修し、各コースの最適な授業実践計画を検討する。</li> </ol> </li> </ol>			

※遂行度: 各項目の進捗状況 / 達成度: 各項目の達成・評価状況

※評価基準: [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

部署名	理 科	担当者	石川 修二
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① 指導力の向上、授業内容の充実</p> <p>② 大学入試に対応できる学力の定着</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>ICT 機器を適切に利用した教材の研究</p> <p>観点別評価基準およびシラバスの検討</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 指導力の向上、授業内容の充実</p> <p style="margin-left: 20px;">a 実験や観察による理科に対する興味・関心の向上、自然観を養成</p> <p style="margin-left: 20px;">b 大学受験に向けた各学年における実力養成のための方法や課題の研究および実践</p> <p style="margin-left: 20px;">c ICT機器を用いた授業や、機器内で使用する教材の研究、および新課程の研究</p> <p style="margin-left: 20px;">d 進研模試や関西国公立、関関同立などの入試問題の研究</p> <p style="margin-left: 20px;">e 観点別学習状況の評価基準の検討</p> <p>② 大学入試に対応できる学力の定着</p> <p style="margin-left: 20px;">f 生徒の実情に合わせた補講習・単元テストの適宜実施</p> <p style="margin-left: 20px;">g 「やり直しノート」の作成・提出、および復習の重要性を意識させる指導の徹底。課題の与え方の検討・改善</p> <p style="margin-left: 20px;">h 個々の生徒に寄り添う指導の実践。</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
                   [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	英語科	担当者	今塩屋誠
-----	-----	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>予習・授業・復習のサイクルを徹底させ、英語力を向上させる。</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>模試成績を総合進学コースは毎回1ポイント、特進コースは毎回2ポイント上げる</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>・①英語力の向上にむけて</p> <p>ロイロノートなどを使ってこまめに予習のノートチェックをします。総合進学は30分程度、特進は1時間程度の課題を毎回出します。(小テストの対策時間を含めて)それを平常点に加味します。</p> <p>復習のための小テストを総合進学クラスでは週に1回程度、特進クラスでは週に2回以上実施します。それを平常点に加味します。</p> <p>セブ島のオンライン英会話を1、2年生全クラスに導入していますが、授業でも音声を重視した指導をします。</p> <p>辞書を授業中に数回調べさせて、活用します。</p> <p>② 他の先生方の授業を積極的に見学し、アドバイスし合えるようにします。</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	保健体育 科	担当者	鶴田 充功
-----	--------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動を通じて、社会生活に適応できる姿勢・礼儀などを習得する。</li> <li>・各種スポーツを通じて、技能向上と体力作り・協調性を習得する。</li> <li>・iPad、ロイロノート、デジタル教科書を活用した、授業も研究し、実践できるようにしていく。</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新興感染症への対応 (コロナウイルスに対する知識、予防方法、罹患時の対応など)</li> </ul>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
時間を守る 授業開始時間に遅れない  集団行動の様式の習得と実践 (静と動) 挨拶・姿勢・集解散・方向変換・ラジオ体操  服装を正す 忘れ物を無くす・腰パン・半袖シャツを出さない・体操帽着用  各種目の技術習得 個人技能と集団技能  運動することの必要性、大切さ 生活習慣と生涯健康の関わりを理解する  各種目のルールの理解 ゲームの運営・ルール習得  ICTの導入 iPad、ロイロノート、デジタル教科書を活用した、授業も研究し、実践していく  心肺蘇生法の習得 胸骨圧迫・AED使用方法			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
                   [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	芸術科	担当者	阪口 雅則
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>1. 行事への協力、取り組み。</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>2. 表現力を伸ばし、感性を磨き、豊かな心を養う。</p> <p>3. 評価、評定について協議する。</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>1. 行事への協力、取り組み。</p> <p>① 聖徳書道展への協力。</p> <p>② 芸能鑑賞等、教務部との連携。</p> <p>2. 表現力を伸ばし、感性を磨き、豊かな心を養う。</p> <p>① 表現力を伸ばすための基礎技術の指導、および基本的な知識をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽 演奏（器楽、声楽）の基本技術の指導。 音楽史の学習。</li> <li>・美術 絵画表現（描写、着彩）と立体表現の指導。 美術史の学習。</li> <li>・書道 楷書、行書における用筆法の指導。 書道史の学習。</li> </ul> <p>3. 評価、評定の方法について協議する。</p> <p>① 観点別学習状況の中で「知識・技能」、「思考・判断力・表現」についての研究。</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--



部署名	家庭科	担当者	植田梨絵子
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① 家庭科に対する学習意欲の向上・発展</p> <p>② 実践的・体験的な活動を意識させ、生活を改善する意欲と態度を育成</p> <p>③ 男女共同参画社会を見据えた教育推進</p> <p>④ 教材の見直し・整備</p> <p>⑤ タブレット学習の実施計画</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>・ 将来へ興味関心を高める教材や授業の工夫</p> <p>・ 自己のライフデザインを自主的に進められる人材育成</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>①家庭科に対する学習意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材の内容を深め、関連した資料や情報を添付する。(本物志向の展開：本物を見て触らせる)</li> <li>・ 未提出者等は催促し、必ず提出させる。</li> <li>・ 他教科にも通じるような授業を展開する。</li> </ul> <p>②実践的・体験的な活動を意識させ、生活を改善する意欲と態度を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものづくりの体験的活動を通して、家族の人間関係や家庭の機能を理解させる。</li> <li>・ 生活に必要な基礎的・基本的な知識・技術を身につけさせ、生活を工夫し創造する能力を育成する。</li> </ul> <p>③男女共同参画社会を見据えた教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女共に協力し、助け合えるよう自立を促す。</li> </ul> <p>④教材の見直し・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に配慮して主体的に生活を営む能力を育てるため、自ら課題を見だし展開できる問題解決的な教材を検討する。</li> <li>・ 情報化に対応し、生活と家庭科との関わり、情報手段の活用内容の充実を図る。</li> </ul> <p>⑤タブレット学習の実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT教育をすすめるためにデバイスの活用を促す。</li> <li>・ 授業中に活用することで、意見の共有や刺激を受けるようアウトプットの回数を増やす。</li> </ul>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	情報科	担当者	須藤 秀裕
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① より良い授業内容にするための検討</p> <p>② 新学習指導要領における教材研究</p> <p>③ 大学入試制度改革に関する情報収集</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>④ 大学入試科目への対応</p>

### 2. 令和4年度の実行計画 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① より良い授業内容にするための検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習効果の高い実習課題の検討</li> <li>・ 座学で扱う内容の再構成</li> </ul> <p>② 新学習指導要領における教材研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラミング教育に関する教材研究</li> <li>・ カリキュラムを含めた授業計画案の検討</li> </ul> <p>③ 大学入試制度改革に関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「情報科」大学入試導入に関する情報収集</li> <li>・ 「情報科」大学入試導入に関する研修会への積極的参加</li> </ul> <p>④ 大学入試科目への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通テストに関する情報収集</li> <li>・ 共通テストへの対策</li> </ul>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
 [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	宗教科	担当者	柴田 直毅
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①校訓、学順の理解</p> <p>②授業内容のさらなる充実</p> <p>③宗教行事の理解と実践</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>ICTを活用した授業の実践、自ら考えを表現できる力の育成</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 校訓、学順の理解</p> <p>(1) 授業を通じて「挨拶」の実践を徹底する。</p> <p>(2) 礼儀作法について学習、実践をする。</p> <p>② 授業内容のさらなる充実</p> <p>(1) 授業開始時の一枚起請文奉読を徹底する。</p> <p>(2) 生徒の理解に適した授業を展開する。</p> <p>③ 宗教行事の理解と実践</p> <p>(1) 授業において宗教行事の由来、意義を学習する。</p> <p>(2) ICTによる宗教行事の理解</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
                   [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	高校 1 年	担当者	漁野篤史
-----	--------	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和 4 年度の重点目標 ※4 月 30 日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協働力を高め、人道を知り、公共心を育む。</li> <li>2. 自律性を養い、自己効力感を高める。</li> <li>3. 知識を身につけ、好奇心を育み、基礎学力と学習習慣を身につける。 (70 人以上に偏差値 46 以上、35 人以上に偏差値 52 以上の学力をつける。)</li> </ol>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>校訓「正思明行」を体現した、自走できる生徒づくり (三五力の完成)</p>

### 2. 令和 4 年度の取り組み内容 ※内容は 4 月 30 日までに記入 / 年度末評価は 3 月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協働力を高め、人道を知り、公共心を育む。 (1) 役割を与え、励まし、協力し合える環境を整える。(学級活動の活性化) (2) 他人のために、できることを考えさせる。(人権、宗教、青少年赤十字活動)</li> <li>2. 自律性を養い、自己効力感を高める。 (1) 自分達のことは自分達でできる様にする。(日直・係) (2) 「やればできる」を合言葉に、達成感を感じる取り組みを行う。(褒めて育てる)</li> <li>3. 知識を身につけ、好奇心を育み、基礎学力と学習習慣を身につける。 (1) 模試や定期考査に対する意識を高め、準備と振り返りの習慣を身につける。(自由参加型の講習と表彰制度) (2) 学力不振層に対する強制補習の通年実施(集い)</li> </ol>			

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3 月末までに記入

--

部署名	高2学年	担当者	茶田 昌蔵
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①校訓「正思明行」・学順の実践に基づいた人間力の向上</p> <p>②生徒・保護者・教員的意思疎通</p> <p>③基本的な生活習慣、学習習慣の確立</p> <p>④担任団・学年担当者・各分掌との連携・意思疎通</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>① 大学進学実績の向上</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>①・校則遵守の徹底 (立腰、挨拶、服装、頭髪、言葉遣いなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等では積極的に参加するよう促し、生徒一人ひとりに責任を持たせる。</li> <li>・探究学習を利用して、プレゼンテーション能力を身につけさせる。</li> </ul> <p>② 学期に1回は必ず生徒との二者面談を実施し、日々生徒の様子を把握して、保護者と常に連絡を密にする</p> <p>③・授業に対して真剣に取り組む姿勢を作るため、授業開始に立腰を行うことで心を落ち着かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標大学を明確にして、自学習の習慣を身につけさせ、家庭でも毎日机に向かって、復習・予習を自分でできるようにする。</li> <li>・授業と補講習を充実させ、特進コースは国公立大学、総合進学コースは関関同立を一般入試で合格するだけの実力をつけさせる。</li> </ul> <p>④・担任団のみならず、学年担当者、教科担当者との連絡を密にして、情報を共有し、全職員が同じ方向性で指導にあたり、全員で生徒の夢・希望を応援する。</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
                   [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

部署名	高3学年	担当者	八内 宇弘
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1) 校訓「正思明行」・学順の実践</p> <p>(2) 生徒・保護者・教員の意味疎通</p> <p>(3) 進学指導</p> <p>(4) 担任団・学年担当者・各分掌との連携・意味疎通</p> <p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p>
---

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>(1) ①法然上人の教え・校訓「正思明行」・学順を意識した生徒指導 ②参列者全員が感動の思い出に残る卒業式の実施</p> <p>(2) ①家庭と学校との綿密な連携 ②効果的なLHRや学年集会の実施</p> <p>(3) ①『合掌』で授業を始めることによる落ち着いた環境づくり ②競争することを意識した学習への取り組み ③毎日の家庭学習の習慣の確立 ④定期考査前の補習の実施</p> <p>※総合進学コースの目標 ①良き生活習慣の確立 ②「産近甲龍」大学進学に向けた学力の向上</p> <p>※特進Ⅱ類コースの目標 ①良き生活習慣の確立 ②「関関同立」大学進学に向けた学力の向上</p> <p>※特進Ⅰ類コースの目標 ①良き生活習慣の確立 ②国公立大合格に向けた指導</p> <p>(4) ①学年担当者会議の可能な限りの実施 ②日常の会話による生徒の情報交換</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	人権教育	担当者	柴田直毅
-----	------	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①学年の現状に合わせた新しい教材を使った教案の作成          ②育てる人権教育の実践          ③いじめ防止対策委員会の年間計画に基づく人権教育の実践</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標          学校生活の中で人権問題(友達との関係、クラブ活動など)を認識する。</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>①教材の開発            生徒の実態を考慮した教材の開発            SNS、インターネットと人権などに関する新しい教材を開発する</p> <p>②育てる人権教育の実践            自他を理解した集団づくり(クラス、クラブ活動)            相手の立場、気持ちを理解する</p> <p>③生活アンケート            生活アンケートを各学期の最後に実施する、            差別、偏見をテーマにした人権教育LHRの実践</p>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
 C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	保健管理	担当者	西巻 裕子
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健室の機能を充実し、保健管理の組織的推進を図る</li> <li>2. 自立的な健康の保持・増進の確立をめざした保健教育の実践</li> <li>3. 健康相談活動における心のケアと各分掌と連携、情報の共有化</li> <li>4. 学校保健組織活動の円滑な推進とチーム力の促進</li> </ol>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>学校医をはじめとする学校保健委員会の組織化、推進化を図る。</p> <p>Health care room (保健室のHP) 等で情報発信に努め、将来へ繋ぐ予防教育を実践する。</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p><b>1、保健室の機能を充実し、保健管理の組織的推進を図る</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 感染症の予防と発生時の迅速な対応、学校保健情報の集約</li> <li>② 救急処置の迅速な対応と連携が取れるマニュアル化</li> <li>③ 配慮を必要とする生徒の支援について、個別のニーズに応じた支援のあり方を示し、共通理解を図る</li> </ol> <p><b>2、自立的な健康の保持・増進をめざした保健教育の実践</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① けがの予防、感染症や生活習慣病、がん教育等の予防教育 (数値化をして具現化)</li> <li>② 本校が抱える心身の健康課題を見出し、個別・集団的保健指導の実践、将来に影響を及ぼす健康問題を研究</li> <li>③ 保健室HPの充実、ICTを活用して、心身の健康に関する情報発信に重点的に推進、関係医療機関との連携</li> </ol> <p><b>3、健康相談活動における心のケアと各分掌との連携、情報の共有化</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 心の問題を的確に把握するために生徒一人一人への声かけと全教職員との情報交換を密に図る</li> <li>② SCと生徒指導部教育相談係、関係職員との組織的連携、共通理解を図る。(ICTを活用)</li> <li>③ 不登校、いじめ事象等の迅速な把握と対応をめざす</li> </ol> <p><b>4、学校保健組織活動の円滑な推進とチーム力の促進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校保健委員会、労働安全衛生委員会の円滑かつ組織的運営の確立、臨時委員会の適宜開催</li> <li>② 生徒保健委員会の主体的な活動のサポート (本校独自性のある啓発活動、心身の健康に関する探究・学び合いと情報発信、評価につなげる)</li> <li>③ 災害共済請求給付業務に関する学園本部との連携</li> </ol>			

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--



部署名	図書教育	担当者	植田梨絵子
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①学校司書と協働した図書室の運営管理の充実</p> <p>②書籍の充実</p> <p>③委員会を主体とした読書活動の推進</p> <p>④図書室の利用生徒数の向上</p> <p>⑤図書室利用の連絡の徹底</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>・蔵書管理システムの有効活用と蔵書登録の完了・確認作業</p> <p>・レファレンス業務の定着</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 学校司書と協働した図書室の運営管理の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から紀伊國屋書店よりアウトソーシングすることによって業務の効率化や蔵書登録作業をすすめ、今年度で書籍登録を完了させる。</li> </ul> <p>② 書籍の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な視野から選書の提案をもらい、一層充実した書籍を選定していく。</li> </ul> <p>③ 委員会を主体とした読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の条件を提示し、積極的に活動ができる生徒を募集し、図書室利用や読書推進に貢献する生徒を育てる。</li> </ul> <p>④ 図書室の利用生徒数の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の機会を増やすよう探究やHR、各教科での活用を促す。</li> <li>・自習をするスペースとしての活用を広げる。</li> </ul> <p>⑤ 図書室利用の連絡の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や行事で活用する際は、作業の計画が崩れないよう、また、利用をスムーズにするために、必ず司書教諭を通して連絡がいくように徹底する。</li> </ul>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
 [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	広 報	担当者	田中 良和
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度生徒募集につながる広報物の発行</li> <li>・ブログの更新回数や SNS を活用した効果的な広報活動の検討・実施。</li> <li>・近隣地域に向けた広報活動の充実。(道路沿いの横断幕、バス側面の広告等)</li> <li>・入試対策部及び新しい広報委託業者との連携強化。</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園財政を鑑み、広報効果が低い紙媒体や説明会ブースを削減し、広報費用のコスト削減を図る。</li> <li>・今後の広報戦略における立案を図る。</li> </ul>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>(1) 本校ホームページの更なる改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報委託業者と連携を図り、ホームページが利便性の高い状態を維持する。</li> </ul>			
<p>(2) ブログの更新回数増加とアップ内容の精査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのアップ内容を精査し、日常的に学校の情報を発信することを目指す。</li> </ul>			
<p>(3) 近隣地域に向けた広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく、インパクトのあるものを作成する。</li> </ul>			
<p>(4) SNS活用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に合わせた広報活動を追究する。</li> </ul>			
<p>(5) 学園財政を鑑み、広報費用の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の実績をもとに費用対効果の高いものを選定し広報活動を行う。</li> </ul>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

--

部署名	事務室	担当者	松井 保
-----	-----	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①適切かつ的確な事務処理及びさらなる質の向上</p> <p>②企画・運営に関する事務</p> <p>③校内・教育環境のさらなる整備</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>生徒獲得に向け、学校の課題を真摯に考え、時代や地域のニーズを踏まえた特色のある学校づくりを教員とともに実現していく。</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 適切かつ的確な事務処理及びさらなる質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や生徒、保護者の意見を真摯に受け止め、きめ細やかに事務処理を行っていく。また、生徒及び保護者への対応についても、相手の立場に立ち、親身に接することを心がける。そして、安心できるような事務室としての役割を果たす。</li> <li>・上宮学園本部事務所との連絡を積極的にとり、相互の連絡ミスを防ぎ、業務の効率化を図る。</li> <li>・常に業務内容の必要性や効率性を考え、事務処理の質の向上に取り組む。また、業務改善が必要と判断すれば、速やかに改善策を模索し、改善に努める。</li> </ul> <p>② 企画・運営に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実態を的確に把握し、課題改善のハードルを調整すると共に、改善を図る。また、地域の課題にも目を向ける。教員と同じ方向を見据え、同じ目標を共有し、積極的に学校の課題を把握する。また、その課題の改善策を多角的かつ多面的な観点を踏まえながら、提案・実現していく。</li> </ul> <p>③ 校内・教育環境のさらなる整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒及び教職員がより安全かつ快適に教育活動に専念できるように進めていく。</li> </ul>			

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： { A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでない      D 進んでいない / できていない }

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

令和4年度  
学校評価に関する  
各部署の中間評価報告

上宮太子高等学校  
学校評価委員会

## 令和4年度各部署の中間評価

### 報告書

部署名	教務部	責任者名	田中 良和
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新しい教育活動 (50分授業及び新教育課程の観点別学習状況評価等) 導入期のシステムの確立。</li><li>・ 教務クラウドシステム (BLEND) の円滑な運営。</li><li>・ 労働時間の遵守及び就業システムを円滑に運営するため、事務所・総務との連携。</li><li>・ 考査規定・5段階基準等の教務内規の再検討。</li><li>・ コロナ禍においても充実した教育活動・行事の実施に向けた企画・運営・検討。</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教務内規の再検討</li><li>・ 国際理解教育の推進</li><li>・ 有効な指導体系の継続検討</li></ul>			
<p><b>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</b></p> <p>「50分授業」「新教育課程の観点別学習状況評価」「教務クラウドシステム」は今年度から導入となり、運用しながら本校独自のものを構築する黎明期に当たる。教務部内の各係から出た課題や問題点を集約し、改善に向けて取り組んでいきたい。</p> <p><b>【年度末に向けての検討事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新カリキュラム (50分授業) 導入期における振り返り。</li><li>・ 観点別評価及び新教務システムの円滑な運用。</li><li>・ 教務内規・考査規定の再検討。</li><li>・ 早朝テストの効果的な運営方法。</li><li>・ ICTを活用した更なる授業の改良。</li></ul>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書 尾山 友昭

部署名	生徒指導部	責任者名	尾山 友昭
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>教育相談</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 教職員への啓発・発信・・・「不登校を考える会」プリント配布</li><li>2 スクールカウンセラーと教職員との連携・・・研修会実施予定</li><li>3 教育相談室の活用・・・数件利用有</li></ol> <p>生徒会</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 生徒会活動の活性化・・・コロナ禍でのすべての行事を実施</li><li>2 委員会活動の活性化・・・前期、後期制に設定し活動頻度の多い委員会のみを縮小</li><li>3 広報活動・・・インスタグラムの更新、太子ニュースの発行</li><li>4 クラブ活動の活性化・・・男女共にクラブに対しての意識が強くなってきている。 文武両道と学校の活性化に貢献する。</li></ol> <p>生活指導</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 校訓「正思明行」・学順の実践、規範意識の向上・・・朝の立ち番、生活委員の活動</li><li>2 生徒指導の推進と問題行動の予防強化・・・予防に向けての連絡をクラス学年に伝達</li><li>3 道徳意識、規範意識の向上（頭髪服装検査強化）・・・月1回の頭髪服装検査の実施</li><li>4 いじめ・不登校、配慮を要する生徒への取り組み・・・いじめ対策防止委員会数件 相談室の活用</li><li>5 生徒の愛校心向上・・・検討中</li></ol>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>教育相談：悩みをもつ生徒が、楽しく学校生活を送れるようにする。・・・カウセリングの実施</p> <p>生徒会：生徒主導による各種活動・・・体育大会、上宮祭、オープンキャンパスの企画運営</p> <p>生活指導：事故がなく安心して生活できる学校づくり・・・啓発を継続</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>生徒の自主的な行動により、規律正しく、挨拶をはじめとする活気あふれる</p> <p>学校づくりを目指す（教員より声がけを積極的に行う）</p>			

## 令和4年度各部署の中間評価

### 報告書

部署名	進路指導部	責任者名	福田和憲
-----	-------	------	------

**（短期目標）** ※本年度に取り組む目標

【進路企画関係】

I. 進学実績の目標達成（高校3年）

a 国公立大学20以上合格      b 関関同立18以上合格      c 産近甲龍100以上合格

II. 基礎学力の向上（高校1年・2年）

d 進研模試偏差値52以上を学年の2割以上      e 進研模試偏差値46以上を学年の5割以上

f 模試の事前・事後指導、結果分析      g 家庭学習の推進

【ICT教育推進関係】

III 「iPadが動く学校」の展開への意欲的な挑戦

h Google、Microsoftのプラットフォーム整備      i iPadの新しい使用法の模索

j 先生方のiPad使用を進める      k 緊密な情報共有による相互サポート

**（中・長期目標）** ※数年計画で達成したい目標

【探究関係】

IV. 主体性を育む教育

l 探究活動の推進（高校1年・2年）

【全体】

V. 戦略的改革

m 生産性の高い進路指導体制構築      n アクティブラーニングの研究と啓蒙

o 先生方を巻き込んだ学校全体の意識改革

現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容

【進路企画関係】本年度は、部長が初年度ということで業務の要領を得ず、学習指導や学年・教科への取り組みが思ったように進んでいない。反省点を整理・分析し、来年度に繋げていきたい。

【ICT教育推進関係】主任が交代したが、以前からチームで取り組んでいたこともあり、新しい教員用iPadやMicrosoft365への移行など、新しい取り組みもスムーズに進んでいるが、新しい使用方法や使用推進など、まだまだ改善点も多い。

【探究関係】今年初めて、学年主導で、業者（さんぼう）に仲介してもらって動かしている。大きな成果はまだ出ていないが、今後の業者の取り組みも注視しながら、今後の大きな流れをどのように進めて行くかを決めていきたい。

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	入試対策部	責任者名	佐々木哲也
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1) 受験者数確保に向けての広報活動</p> <p>昨年度からの変更点として、総合進学コース専願者の3教科受験のパターンが増えたことで、より自分の得意教科を活かすことができ、受けやすくなったことをアピールしている。専願受験生を180名確保するために、より多くの保護者・生徒に上宮太子に来てもらえるように引き続き広報活動をする。</p> <p>(2) 効果的な広報物を制作・活用</p> <p>1学期はじめには、中学ごとに1年生のコメント付きの写真と、学校紹介ビデオを作成して持参し、多くの中学生に見てもらえるようにした。</p> <p>三つ折りリーフレットについては、予定通り8月中には全て配布できた。</p> <p>2学期用の行事リーフレットについても10月中旬で全て配布した。</p> <p>(3) 情報の収集・共有化</p> <p>渉外活動において知りえた情報については、入試対策部内において共有化を行っているが、定期的に校内の先生方へのお伝えまでは実施できていない。</p>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>この2年間は、入学者数の確保(目標200名)のために、変化を伝えることで目を向けてもらうことが必要。</p> <p>この間に、上宮太子のブランドを作ることによって、この先の安定的確保につながっていくと思われる。</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>オープンキャンパスにおいては、例年になく多くの生徒が上宮太子に足を運んでくれた。</p> <p>参加してくれた生徒が在籍している中学や塾に訪問し是非とも受験して頂けるよう案内をかけていく。</p> <p>外部説明会では、昨年と違い人数制限がなくなっているので、ブースに座ってくれる保護者・生徒の数もかなり増えている。</p> <p>10月まではラインを伝えることがメインとなるが、11月には上記で関わってくれた生徒中心に専願者確保のための渉外活動をする。</p>			



令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	国語科	責任者名	福田和憲
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新課程教授法の研鑽 および共通テスト、私立大学入試研究の継続的な研鑽</li><li>・ICT機器を活用した、生徒との双方向のやりとりを実現する授業形態の模索</li><li>・生徒たちが国語を積極的に学びたいと思えるような「生徒目線」での関わり</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・共通テスト平均点(特進I類) 文系7割5分、理系6割5分以上</li><li>・国語科全教員による、新課程の指導要領に沿った双方向のやりとり、表現力の育成を中心とした新しい授業形態の確立および共有</li></ul>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>新課程については、とりあえず骨子は作った上でスタートしているが、まだ担当者の力量に任される部分が多く、教科内で汎用的に共有できるレベルに達していない。</p> <p>国語についての生徒の積極的な参加意欲の育成については、旧態依然の授業スタイルを変えるには、引き続き研鑽が必要である。新課程の共通テストにおいて、どの教科についても「論理的思考」「読解力」が必須の能力であることが問題のあらゆる部分に認められ、特に特進クラスについては国語科が率先して基礎学力を伸ばさせていく必要性を感じている。</p>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	社会科	責任者名	松井 康浩
-----	-----	------	-------

(短期目標) ※本年度に取り組む目標

(1)授業の厳正化と社会科としての強化

各授業担当者において、授業に集中できる雰囲気づくりや、授業が好きになる工夫は実施されていると思われる。ただ、特に2学期以降の総合進学コースにおける3年生の授業は今後も課題である。また、2学期に行われる授業アンケートを注目したい。

(2)教科会の活性化

時間に追われる日々が続いており、なかなか取り組めていないのが現実である。

(3)大学入試問題の研究

各授業担当者で連携を取りながら進めている。

(4)新カリキュラムへの対応と共にICTの活用の在り方の研究

今年度から1年生から始まった新課程であるが、実際に授業が行われることにより様々な課題なども見えてきた。来年度以降に活かしていきたい。

(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標

新カリキュラムへの対応と共にICTの活用の在り方の研究

来年度から始まる2年生の「世界史探究」「日本史探究」「地理総合」など教材研究を進めていきたいが、指導書が出来上がるのが来年の3月である。

現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容

社会科教員の考査作成数が非常に多くなっており、かなりの負担増となっている。将来的には、2単位の授業については期末考査と学年末考査の実施のみとし、演習の授業については考査の実施をしない方向で検討していきたい。

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	数学科	責任者名	茶田 昌蔵
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 授業の厳正化</li><li>2. 数学力の向上</li><li>3. 教科会の活性化</li><li>4. 研修への積極的な参加</li></ol>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 特進Ⅰ類, 特進Ⅱ類, 総合進学各コースにおける指導方針の統一</li><li>2. 理系進学希望者の増強</li><li>3. 理系大学進学率の向上</li></ol>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 授業の厳正化<ol style="list-style-type: none"><li>①個々のより深い教材研究と教材の共有</li><li>②研究授業の実施</li><li>③各コースの特性を見据えた指導計画と実践</li></ol></li><li>2. 数学力の向上<ol style="list-style-type: none"><li>①家庭学習定着のための内容・量の適正化と推進</li><li>②各学年の偏差値2ポイントアップを目指した模擬試験対策およびやり直しの徹底</li><li>③大学入試問題の研究・研修と生徒への還元</li></ol></li><li>3. 教科会の活性化<ol style="list-style-type: none"><li>①連絡の徹底と教科内の共通認識</li><li>②教科における情報交換と研修</li></ol></li><li>4. 研修への参加<ol style="list-style-type: none"><li>①アクティブラーニングやICTについての研修を受け教授法を学び教科会で検討導入していく。</li><li>②新学習指導要領によるカリキュラム構成, 評価方法を研修し、各コースの最適な授業実践計画を検討する。</li></ol></li></ol>			

## 令和4年度各部署の中間評価

### 報告書

部署名	理科	責任者名	石川 修二
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① 指導力の向上、授業内容の充実</p> <p>a 実験や観察による理科に対する興味・関心の向上、自然観を養成 →授業の要所で実験を積極的に行っている。生徒の興味付けになっている。</p> <p>b 大学受験に向けた各学年における実力養成のための方法や課題の研究および実践 →高3担当を中心に、各大学の問題を演習形式で生徒に実践させている。</p> <p>c ICT機器を用いた授業や、機器内で使用する教材の研究、および新課程の研究 →デジタル教材やネット上の動画データなどを利用し、より生徒が理解しやすい教材を作成する。</p> <p>d 進研模試や関西国公立、関関同立などの入試問題の研究 →進研模試を中心に、共通テストや私大対策に取り組んでいる。</p> <p>e 観点別学習状況の評価基準の検討 →より生徒の資質に応じた評価となるよう、現在も継続して検討している。</p> <p>② 大学入試に対応できる学力の定着</p> <p>f 生徒の実情に合わせた補講習・単元テストの適宜実施 →適宜実施できている。</p> <p>g 「やり直しノート」の作成・提出、および復習の重要性を意識させる指導の徹底 課題の与え方の検討・改善 →学年ごと、習熟度に合わせて指導を展開している。</p> <p>h 個々の生徒に寄り添う指導の実践 →学習意欲を後押しするために、各教員が生徒からの質問に速やかに答えることを実践している。</p>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>ICT 機器を適切に利用した教材の研究 →次年度から専門教科の内容が変更されることに合わせて、継続して検討していく。</p> <p>観点別評価基準およびシラバスの検討 →上記同様、検討していく。</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業に楽しんで参加するということから、大学受験に向けての学習への取り組みへの移行。</li><li>・実験は好きだが、計算や文字の記入、授業を長く聞けないといった生徒への対応。</li></ul>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	英語科	責任者名	今塩屋誠
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>予習・授業・復習のサイクルを徹底させ、英語力を向上させる。</p> <p>特進コースではロイロノートなどを使った予習のノートチェックはほとんどの先生が行っています。総合進学については確認できていません。</p> <p>復習のための小テストについても特進クラスでは週に最低1回は実施しています。</p> <p>セブ島のオンライン英会話を1、2年生全クラスに楽しそうに受けていると思います。</p> <p>2年特進I類のロジカルトーキングはやや難しいようです。</p> <p>辞書を授業中に数回調べさせて、活用している先生が多くいます。</p> <p>日々の業務が忙しく、他の先生方の授業を積極的に見学する時間がありません。</p>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>模試成績を総合進学コースは毎回1ポイント、特進コースは毎回2ポイント上げる</p> <p>2年特進コースは2ポイント以上上がっていますが、総合進学は現状維持の状態です。</p> <p>また、3年特進コースは苦手生徒が多く、差が激しい状態です。1年生はまだ不明です。</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>専任・常勤が各コースに一人以上担当出来ない状態で非常勤の先生方に任せきりになっています。3年生の授業がなくなる3学期にリサーチしたいと思います。</p>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	保健体育科	責任者名	鶴田 充功
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 集団行動を通じて、社会生活に適応できる姿勢・礼儀などを習得する。 年々、集団行動の在り方や生徒の対応が悪くなっているように感じるが、今も昔もこういったものは変わってはいけないはず継続して指導していく。</li><li>・ 各種スポーツを通じて、技能向上と体力作り・協調性を習得する。 けがをする生徒が多い。運動能力の低下とも関係があるのか、集中力の問題であるのか根気強く指導していく。</li><li>・ iPad、ロイロノート、デジタル教科書を活用した、授業も研究し、実践できるようにしていく。 体育では実技試験に活用、競技ビデオなどを見せ、技術の習得の参考資料として活用している、引き続き使い方を模索し指導に活用していく。 保健の授業は板書の時短に有効であり内容を深く学習できていると思う。</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新興感染症への対応 (コロナウイルスに対する知識、予防方法、罹患時の対応など) コロナの収束がなかなかすすまない中、共存も踏まえて引き続き指導していきたい</li></ul>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>すでに取り組んでいる項目については、今後も継続して実施する。</p> <p>まだ、取り組めていない項目については、今後実施できるように努力する。</p>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	芸術科	責任者名	阪口雅則
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>行事への協力、取り組みについて。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 聖徳書道展において案内発送、台紙への作品貼り付けをした。</li><li>・ 展覧会場が体育館になったため、改めて展示、レイアウトをし直し、美しく展示できた。</li><li>・ 展覧会の運営にも協力できた。</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>(1) 表現力を伸ばし、感性を磨き、豊かな心を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 三教科とも実技を中心に授業を行いながら、歴史的なこと、理論的なことにも触れ、進められている。</li></ul> <p>(2) 評価評定の方法について協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教科会にて何度か評定のあり方(主体態度)について話した。今も進行中。</li></ul>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 芸術は、五教科では学べない部分を教えるべきだと考えているので、評価、評定についてもどうあるべきか、継続して話し合いたい。</li></ul>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	家庭科	責任者名	植田 梨絵子
-----	-----	------	--------

(短期目標) ※本年度に取り組む目標

① 家庭科に対する学習意欲の向上

なぜ青年期に家庭科教育が必要なのかを伝え、実践的・体験的な活動、生活を改善する意欲と実践的な態度の育成は、身近な生活からの知識を精査し、習得したその知識を生かすことができるように促す。

② 男女共同参画社会を意識した教育の推進

ジェンダーフリーを当たり前を考え、お互いの性を理解・行動できるように、引き続き指導する。

③ 教材の整備

授業時間やスライドの内容、すべての生徒が平等に理解できる教材を提供できるよう、教材研究は今後も継続していきたい。

④ 実践的授業の実施計画

年度ごとに精査しているので、改善を常に図り、無理のない実習計画を進めていきたい。

(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標

① 興味関心を高める授業の工夫 (プレゼンテーションによる評価方法の確立など)

すべての分野に ICT 活用を目指し、新しいアプローチを提案・展開し、他教科との連携を図る。

② 提出物や課題の徹底

未提出者に提出の必要性を理解させ、自主的に提出できるようにする。

現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容

中・長期の目標と同じく、タブレットを活用した授業を増やし、主体的な学習が評価につながられるよう工夫をする必要がある。ルーブリックをさらに明確にし、公平でわかりやすいものにしていきたい。生活の中から様々な学習になるよう意識づけも継続して行っていきたい。



令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	情報科	責任者名	須藤 秀裕
-----	-----	------	-------

(短期目標) ※本年度に取り組む目標

① より良い授業内容にするための検討

- ・ 学習効果の高い実習課題の検討については、現在も検討を継続している。
- ・ 座学で扱う内容の再構成については、まだ、実施できていない。

② 新学習指導要領における教材研究

- ・ プログラミング教育に関する教材研究については、現在も継続している。
- ・ カリキュラムを含めた授業計画案の検討については、まだ、実施できていない。

③ 大学入試制度改革に関する情報収集

- ・ 「情報科」大学入試導入に関する情報収集については、現在も継続中。
- ・ 「情報科」大学入試導入に関する研修会への積極的参加については、実施できていない。

(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標

④ 大学入試科目への対応

- ・ 共通テストに関する情報収集については、現在も継続している。
- ・ 共通テストへの対策については、まだ、実施できていない。

現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容

- ・ すでに取り組んでいる項目については、今後も継続して実施する。
- ・ まだ、取り組めていない項目については、今後実施できるように努力する。

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	宗教科	責任者名	柴田直毅
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●授業開始の「一枚起請文」奉読は新型コロナウイルス対応により発声は生徒に任せています。声を出して奉読する組もありますが、ほとんどは黙読しています。</li><li>●パワーポイントを利用して授業展開、内容を工夫・検討しています。</li><li>●体育館での行事（追悼会など）を将来的に再開、実践していきたいです。</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>立腰からの合掌、奉読をスムーズにしていきたいです。</p> <p>生徒が分かりやすい教材を研究したいです。</p> <p>ロイロノートも活用したいです。</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>授業内容と時間数の調整があまり上手く行ってないです。生徒が少しでも関心が持てる教材を日々研究していきたいです。</p>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	第1学年	責任者名	漁野篤史
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協働力を高め、人道を知り、公共心を育む。</li> <li>2. 自律性を養い、自己効力感を高める。</li> <li>3. 知識を身につけ、好奇心を育み、基礎学力と学習習慣を身につける。</li> </ol> <p>(70人以上に偏差値46以上、35人以上に偏差値52以上の学力をつける。)</p>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>校訓「正思明行」を体現した、自走できる生徒づくり (三五力の完成)</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. (1) 学級活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技大会実行委員会を立ち上げ、企画・運営に取り組ませた。参加した生徒には貴重な体験になったと思う。3学期に予定している校外学習に向けて、同様実行委員会を立ち上げる。</li> </ul> </li> <li>(2) 人権、宗教、青少年赤十字活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションで、青少年赤十字の指導員に講演をしていただいた。引き続き、自分以外の人のためにできることを考えさせたい。</li> </ul> </li> <li>2. (1) 日直・係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日直による朝礼・終礼を通じて、主体的な行動力を養っている。引き続き、教員が手を離せる場を作っていきたい。</li> </ul> </li> <li>(2) 褒めて育てる <ul style="list-style-type: none"> <li>・より注意深く生徒を観察し、できることを発見してやりたい。</li> </ul> </li> <li>3. (1) 自由参加型の講習と表彰制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合進学コース対象の講習 (B-thru) への参加状況は良好である。また、進研模試への意識も高い。</li> </ul> </li> <li>(2) 集い <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊張感に満ちた環境で、参加者の学力は確実に向上している。</li> </ul> </li> </ol>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	第2学年	責任者名	茶田 昌蔵
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①校訓「正思明行」・学順の実践に基づいた人間力の向上</li> <li>②生徒・保護者・教員の意味疎通</li> <li>③基本的な生活習慣、学習習慣の確立</li> <li>④担任団・学年担当者・各分掌との連携・意味疎通</li> </ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学進学実績の向上</li> </ul>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校則遵守の徹底 (立腰、挨拶、服装、頭髪、言葉遣いなど)</li> <li>・ 行事等では積極的に参加するよう促し、生徒一人ひとりに責任を持たせる。</li> <li>・ 探究学習を利用して、プレゼンテーション能力を身につけさせる。</li> </ul> </li> <li>② <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期に1回は必ず生徒との二者面談を実施し、日々生徒の様子を把握して、保護者と常に連絡を密にする</li> </ul> </li> <li>③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に対して真剣に取り組む姿勢を作るため、授業開始に立腰を行うことで心を落ち着かせる。</li> <li>・ 目標大学を明確にして、自学習の習慣を身につけさせ、家庭でも毎日机に向かって、復習・予習を自分でできるようにする。</li> <li>・ 授業と補講習を充実させ、特進コースは国公立大学、総合進学コースは関関同立を一般入試で合格するだけの実力をつけさせる。</li> </ul> </li> <li>④ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任団のみならず、学年担当者、教科担当者との連絡を密にして、情報を共有し、全職員が同じ方向性で指導にあたり、全員で生徒の夢・希望を応援する。</li> </ul> </li> </ul>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	第3学年	責任者名	八内 宇弘
-----	------	------	-------

(短期目標) ※本年度に取り組む目標

(1)校訓「正思明行」・学順の実践

- ・まだまだ幼い面も見られるが、大学受験に向けて学年全体として意欲的に取り組んでいる。勉強を通じて新たな人間関係の構築も見られることから、着実に人間的にも成長していると思われる。

(2)生徒・保護者・教員の意思疎通

- ・学校での様子が日常と違う場合は、即座に家庭に連絡し、問題の早期発見に努めている。また受験に対する相談なども積極的に保護者と連絡を取り合うことで、生徒達が安心して受験に臨むことができる環境が整いつつある。

(3) 進学指導

- ・日々のテストや課題などをこなし、着実に力をつけている所もある反面、大学受験に大きな不安を抱えている生徒も多い。iPadなどで昨年度の受験結果やアドミッションポリシーを調べさせることで、受験に対する意識を高めることができている。

(4) 担任団・学年担当者・各分掌との連携・意思疎通

- ・週1回の担任会はもとより、日常的に生徒の情報を交換している。

(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標

現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容

(1)進学実績の向上

- ・大学進学に向けて、個々人が最大限の結果を残すことができるように継続的な勉強ができる環境を整えることに取り組む。

(2)他者への配慮ができる人間性を養う

- ・自己の受験が終われば開放感に満たされ、受験が続いている者がいることに配慮が行き届かなくなるケースもしばしば見受けられる。受験は団体戦であり、学年全体で受験を乗り切らなければならないことを、生徒たちに意識をさせる。z

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	人権教育	責任者名	柴田直毅
-----	------	------	------

(短期目標) ※本年度に取り組む目標

人権 LHR において、1年生は1学期「インターネットと人権」利用と被害、2学期「情の記録性、公開性の重大さ」、2年生は1学期「SDGsって何だろう?」、2学期「わたしたちの声 3人の物語 リスペクトアザーズ」、3年生は1学期「インターネットにおける人権問題、SNSにおける誹謗中傷」、2学期「公正な採用選考を目指して」を学習しました。大半の生徒は自らの意見を記入してくれました。

(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標

人権 LHR において学習したことが、活かされるように指導していきたいです。SNSによる問題について、自分の立場に置き換えて考えてほしいです。

現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容

インターネット、SNS、仲間づくり、さまざまな問題がある中、今の時代に相応した事象を研究していきたいです。

## 令和4年度各部署の中間評価

### 報告書

部署名	保健管理	責任者名	西巻 裕子
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p><b>1、保健室の機能を充実し、保健管理の組織的推進を図る</b></p> <p>① 学校感染症の予防と発生時の迅速な対応、学校保健情報の集約を引き続き円滑に行う。(学校感染症出席停止に関する報告、保健所との連携)</p> <p>② コロナ禍で運動不足がみられ、体育や部活動におけるのケガが昨年度より(外科的処置者12%、JSC給付金手続き者34%)増加、体育科教員や顧問と連携して予防に努める。</p> <p><b>2、自立的な健康の保持・増進をめざした保健教育の実践</b></p> <p>① 新型コロナウイルス感染症の動向が4月～9月の上半期で、すでに昨年度末より2倍以上である。(陽性者49名⇒125名)ウイルスの特性に違いはあるが、免疫力向上に結び付く生活習慣の改善を目指す。また、がん教育等を含めた予防教育に取り組む。</p> <p>② 人間関係等のトラブルやHSP(Highly Sensitive Person)等、心の問題が体の不調をきたして来室する生徒が多いことから、心のケアを重点的に行い、その要因を探る。また、養護教諭だけでなく関係職員と連携を図る。また研修会等に積極的に参加して指導力を高める。</p> <p>③ 保健室ホームページの作成に向けICT委員と連携して充実した健康教育を推進する。</p> <p><b>3、健康相談活動における心のケアと各分掌と連携、情報の共有化</b></p> <p>① 生徒一人一人への声かけと目配りを行い、特に表出できない心の問題を推察する。</p> <p>② SCと連携して、対面だけでなくICT機器等のツールを活用した新たなスクールカウンセリングのあり方を検討する。</p> <p><b>4、学校保健組織活動の円滑な推進とチーム力の促進</b></p> <p>① 学校保健に関連する臨時委員会の随時開催</p> <p>② 生徒保健委員会の主体的な活動のサポートとして専門医等と連携した疾病予防動画の作成。</p> <hr/> <p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校医をはじめとする学校保健委員会の組織化、推進化を図る。</li><li>・Health care room(保健室のHP)等で情報発信に努め、将来へ繋ぐ予防教育を実践する。</li></ul> <p><b>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校ホームページのリニューアルに伴い、Health care room(保健室のHP)からの情報発信ができていく状況である。Health care news(保健だより)だけでなく、健康情報、生徒保健委員会活動、取り組み等様々な情報発信ができるようにICT委員とも連携し検討していきたい。</li><li>・心の問題に対して生徒との信頼関係を築いていきながら、関係機関・教職員との情報共有・連携に苦慮している。保健室の機能と養護教諭の専門性を発揮して、一人でも多くの生徒の心に寄り添う。</li><li>・交通事故や体育や部活動、校内におけるケガ等の未然防止に努める。</li></ul>			

令和4年度各部署の中間評価

報告書

部署名	図書教育	責任者名	植田 梨絵子
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①図書室の運営管理の充実</p> <p>紀伊國屋書店に委託した分、開館時間を安定させ、計画的な利用をすることができている。</p> <p>②書籍の充実</p> <p>年間を通じて、購入計画(予算やジャンルなど)をたて、選定を行い購入しているので、ジャンルの偏りを失くし、需要に応じて行っている。新しい視点で書籍を選定できるよう、情報収集を積極的に行っていく。</p> <p>③読書活動の推進</p> <p>「UTLibraryNews」の発行は行っているが、まだまだ生徒の読書時間は増えていないので、教員も含め図書室から啓発を率先して行っていきたい。</p> <p>④利用生徒数の向上</p> <p>一度利用した生徒は、何度も借りに来ることが多いが、借りたことがない生徒も多く、きっかけを作っていく。</p>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・蔵書管理システムの有効活用と蔵書登録・管理の徹底</li></ul> <p>登録は終わり、次のステップである整備や蔵書の充実、啓発活動を進めていく。</p> <p>近隣の図書館や上宮学園図書館との連携ができるよう、紀伊國屋書店を通じて、システムのすり合わせを常時行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・レファレンス業務の向上</li></ul> <p>蔵書登録数が増やせると、レファレンス業務の向上も期待できる。</p>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>授業での活用が広がっていないので、司書と共に改善案を考えていきたい。また、研修会などの場で図書の取り組みなどを発表し、教職員の図書室利用を促していきたい。</p>			



## 令和4年度各部署の中間評価

### 報告書

部署名	広 報	責任者名	田中 良和
<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次年度生徒募集につながる広報物の発行 ⇒入試対策部と連携のもと、昨年度末から今年度、必要な時期に必要な広報物が完成できるような計画を立ててきた。事前の打ち合わせを重ねることでポスター、学校案内、三つ折りリーフレットなど予定通りに作成することが出来、概ね遂行出来ている。</li><li>・ブログの更新回数や SNS を活用した効果的な広報活動の検討・実施。 ⇒行事に関しては、内容の詳細が分かる文章と写真をアップして充実を図っているが、滞ることもあるので広報内で分担をしてリアルタイムに情報を発信していきたい。また中学生ユーザーが多い公式インスタグラムでは、生徒会役員生徒が主導となり、生徒目線で学校情報も発信しており、一定のフォロワー数を確保している。</li><li>・近隣地域に向けた広報活動の充実。 ⇒毎月太子町の広報誌に広告（イベント情報）を掲載し、地元太子町へのPR活動を行っている。また女子のラグビー部員の全国大会出場を讃え、横断幕の作成を行った。</li><li>・入試対策部及び広報委託業者（アプリス）との連携強化。 ⇒アプリスと月に1度、定例会を開催してHPのアクセス数の分析や広報戦略についての検討をする機会を設けている。</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学園財政を鑑み、広報効果が低い紙媒体や説明会ブースを削減し、広報費用のコスト削減を図る。</li><li>・今後の広報戦略における立案を図る。</li></ul>			
<p><b>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</b></p> <p>学校案内、ホームページ管理において、アプリスと連携を図りながら作成を進めている。今後の入試説明会、入試本番の動向を見極めながら次年度につながる広報戦略について共有認識のもと、共に完成度の高い仕事をしていきたい。</p>			

# 令和4年度各部署の中間評価 報告書

部署名	事務室	責任者名	松井 保
<p>① 適切かつ的確な事務処理及びさらなる質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員や生徒、保護者の意見を真摯に受け止め、適切かつ的確に事務処理を行う。</li><li>・また、安心できる事務室としての役割を果たすため、生徒や保護者への丁寧な対応を心がける。</li><li>・相互の連絡ミスを防ぎ、業務の効率化を図るため、上宮学園本部事務所と積極的に連絡をとる。</li><li>・事務処理の質の向上させるため、常に業務内容の必要性や効率性を考えるとともに、業務改善が必要と判断すれば、速やかに改善策を検討し、改善に努める。</li></ul> <p>② 企画・運営に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校や地域の課題を的確に把握するとともに、実態把握をもとに多角的かつ多面的な観点から改善策を模索し、改善を図る。</li><li>・教職員一丸となり、同じ方向を見据えながら、より良い企画や運営を行う。</li></ul> <p>③ 校内・教育環境のさらなる整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒や教員がより安全かつ快適に教育活動に専念できるよう、環境整備を進める。</li></ul>			
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒獲得のため、学校の課題を真摯に考え、時代や地域のニーズを踏まえた特色のある学校づくりを教員とともに実現していく。</li></ul>			
<p>現在までの問題点および年度末に向けての取り組み内容</p> <p>① 適切かつ的確な事務処理及びさらなる質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・業務の内容や工程を見直し、更なる業務の効率化を図る。</li><li>・1月から本格的に始まる入試業務等において、適切かつ的確に対応していきたい。</li></ul> <p>② 企画・運営に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・オープンキャンパスや入試説明会は、生徒獲得につながる大切な機会と考えている。そのため、残りの入試説明会もより良いものになるように事務室としてサポートしていきたい。</li><li>・学校のホームページ等を活用しながら、さらに学校の情報を外部へ発信していきたい。</li></ul> <p>③ 校内・教育環境のさらなる整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校舎や体育館の外部のリニューアルなど、規模の大きい工事をメインに取り掛かっているところであるが、内部の床や壁等についても快適性をアップさせるべく順次リニューアルを進めていきたい。</li></ul>			

令和4年度  
学校評価に関する  
各部署の総括

上宮太子高等学校  
学校評価委員会

部署名	教務部	担当者	田中 良和
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい教育活動(50分授業及び新教育課程の観点別学習状況評価等)導入期のシステム確立</li> <li>・教務クラウドシステムの円滑な運営</li> <li>・労働時間の遵守及び就業システムを円滑に運営するため、事務所・総務との連携</li> <li>・考査規定・5段階基準等の教務内規の再検討</li> <li>・コロナ禍においても充実した教育活動・行事の実施に向けた企画・運営・検討</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務内規の再検討</li> <li>・国際理解教育の推進</li> <li>・有効な指導体系の継続検討</li> </ul>

### 2. 令和4年度の実行計画 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>(1) 教務運営システムの整備・効率化</p> <p>① 学校行事の確実な実施と改良 ※入念な準備、実施要項作成 ※実施資料(改善点等記録含)の整理・保存・次年度への引継ぎ等</p> <p>② 教務各係の業務内容の点検・整備</p> <p>③ 教務内規の精査・改定・整備 ※確定規定の明文化と職員周知</p> <p>④ 新しい教務クラウドシステムの円滑な運営</p>	B	B	<p>① 各部署と連携を取り、先生方の協力のもとで行事を円滑に進めることが出来た。実務面で出た課題に対して、更に内容の充実のための改善を図りたい。</p> <p>② 各業務を明確化し点検・整理を行った。</p> <p>③ 観点別評価について本校の基本構造を作り、運営することができた。</p> <p>④ 教務クラウドシステム「BLEND」については成績処理の面において課題が山積していた。</p>
<p>(2) 有効な指導体系の継続検討</p> <p>⑤ 新カリキュラム導入に向けた校内整備</p> <p>⑥ ICTの導入による新しい教授法の検討</p>	B	B	<p>⑤ 各教科で検討をしてもらった。</p> <p>⑥ 教務主導ではなく、各教科においてICT教育の推進が図られた。</p>
<p>(3) 国際理解教育の推進</p> <p>⑦ 社会の動きに併せながら対応をしていく</p>	C	C	<p>⑦ 海外修学旅行・海外語学研修・English Campは中止となった。オンライン英会話のみ実施することが出来た。</p>
<p>(4) オンライン授業の準備</p> <p>⑧ コロナ禍での臨時休校時も学びを止めないためにICT教育推進室と連携の上で整備を進める</p>	B	B	<p>⑧ ICT教育推進委員による校内研修会やICT環境の整備により、全教職員のスキルアップに繋がった。またコロナ罹患の場合も、即時的にオンライン授業に切り替えられる校内体制が築かれている。</p>

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： 
A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった
B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった
C あまり進んでいない / あまり成果がでない
D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、従来通りの生活様式に戻つつある社会状況において、日々の学校運営及び学校行事を教務部としてより良いものになるよう入念な準備をしておきたい。</li> <li>・観点別評価について初年度に出た課題を集約し、校内での円滑な運営が今後の課題である。</li> <li>・教務クラウドシステム(BLEND)の導入初年度期であり、今年度出た成績処理面での課題や保護者・生徒への運用の徹底を図っていききたい。</li> <li>・次年度、朝礼時間10分の有効な活用方法(「朝の学び」)を、進路指導部と連携しながら運営していききたい。</li> </ul>
---

部署名	生徒指導部	担当者	尾山 友昭
-----	-------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<b>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</b>			
教育相談	1 教職員への啓発・発信	2 スクールカウンセラーと教職員との連携	3 教育相談室の活用
生徒会	1 生徒会活動の活性化	2 委員会活動の活性化	3 広報活動 4 クラブ活動の活性化
生活指導	1 校訓「正思明行」・学順の実践、規範意識の向上		2 生徒指導の推進と問題行動の予防強化
	3 道徳意識、規範意識の向上（頭髪服装検査強化）		4 いじめ・不登校、配慮を要する生徒への取り組み
	5 生徒の愛校心向上		
<b>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</b>			
教育相談	悩みをもつ生徒が、楽しく学校生活が送れるようにする。		
生徒会	生徒主導による各種活動		
生活指導	事故がなく安心して生活できる学校づくり		

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<b>教育相談</b>			
1. 研修会への参加、そして報告 「不登校を考える会」等からの資料プリントの配布	B	B	1. プリント等の配布和出来たが、研修会等の参加が出来ていない。 2. 日程、時間等は次年度に向けて調整が必要である。研修会は年に1回実施。回を増やすことも検討する必要がある。 3. 担任、学年が中心となって行っており、係も積極的にかかわる必要がある。情報の共有が必要。 4. より良い形に変更予定。
2. カウンセリング希望者との日程・時間等の予約の調整 カウンセリングを受けた生徒（保護者）の状況を把握 スクールカウンセラーによる教職員への研修会開催	B B	C B	
3. 担任・学年・係を中心に取り組む	B	C	
4. 予約・報告書を紙媒体からデータへ移行	B	B	
<b>生徒会</b>			たくさんの行事を企画運営するにあたり、教員数が少なく、できることに限りがあるため協力体制の改善が必要である。 クラブ会議等を実施し活性化に向け部活始動で活性化案を検討する。
1. 生徒が主体的に動ける行事の運営・学校づくり（体育大会・上宮祭運営、生徒議会の開催、規範意識の向上等）	B	B	
2. 委員会活動の活性化	C	D	
3. 広報活動（入試説明会・オープンキャンパス（UT フェスタ）地域行事参加）	B	C	
4. クラブ生を主体とした学校の活性化	B	B	
<b>生活指導</b>			
1. 校訓「正思明行」・学順の実践、規範意識の向上のための取り組み	C	C	1. 校訓・学順にそった指導。 2. 次年度に向け実践内容の改定を実施。大阪私学連盟で得た情報をもっと生かす会議等を開催する。 3. 頭髪・服装検査は毎月実施したが実施方法の改善が必要。 4. いじめ防止基本方針を改定。 5. トイレへの標語長期休暇目標の設定。
2. 教員による一律指導を目指し、実践内容を改訂・明確化 大阪私学連盟で得た情報を校内に生かす取組みの実施	C	B	
3. 頭髪服装検査を実施し、生徒心得遵守を促す	B	C	
4. 「いじめ防止基本方針」・「行動計画」を改定・明確化 不登校、配慮を要する生徒の把握と適宜の対応を検討	B	A	
5. 生活委員会の活動を活性化	B	B	

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった    B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでない    D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校訓「正思明行」・学順の実践、規範意識の向上。</li> <li>・ 自転車通学者に対して安全指導の強化。</li> <li>・ SNSに係るトラブルに対応するための、研修及び講演会の実施。</li> <li>・ 生徒会の活性化。</li> <li>・ 教職員への生徒指導の基準統一化・マニュアルの作成</li> </ul>
---

部署名	進路指導部	担当者	福田和憲
-----	-------	-----	------

## 「より素晴らしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

(短期目標) ※本年度に取り組む目標	
I. 進学実績の目標達成	II. 基礎学力の向上
III. 「iPad が動く学校」の展開への意欲的な挑戦	
(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標	
IV. 主体性を育む教育	V. 戦略的改革

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
【進路企画関係】			
I. 進学実績の目標達成 (高校3年)			
a 国公立大学20以上合格	A	B	今年度現役合格数 17
b 関関同立18以上合格	A	A	今年度現役合格数 33 (過去10年最高)
c 産近甲龍100以上合格	A	A	今年度現役合格数 122 (過去10年最高)
II. 基礎学力の向上 (高校1年・2年)			
d 進研模試偏差値52以上を学年の2割以上	C	C	新2年8%、新3年12%
e 進研模試偏差値46以上を学年の5割以上	C	C	新3年49% (文理別3教科)
f 模試の事前・事後指導、結果分析	C	C	分析・学年への指導に手が回っていない
g 家庭学習の推進			
【ICT教育推進関係】			
III 「iPad が動く学校」の展開への意欲的な挑戦			
h Google、Microsoftのプラットフォーム整備	B	B	Microsoft365の整備を完了
i iPadの新しい使用法の模索	C	C	ロイロノート以外の拡充は停滞
j 先生方のiPad使用を進める	B	B	先生方への定着度は向上
k 緊密な情報共有による相互サポート	C	C	ICT教育推進室として、包括的な取り組みは出来ていない
【探究関係】			
IV. 主体性を育む教育			
l 探究活動の推進 (高校1年・2年)	B	C	さんぼうとの業務提携による推進。改善の余地が大いに有り。
【全体】			
IV. 戦略的改革			
m 生産性の高い進路指導体制構築	C	C	生産性の低い業務に追われる
n アクティブラーニングの研究と啓蒙	C	C	全く手が着かず
o 先生方を巻き込んだ学校全体の意識改革	C	C	全く手が着かず

※**遂行度**：各項目の進捗状況 / **達成度**：各項目の達成・評価状況

※**評価基準**： A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった    B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでない    D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>今年度は、新しく仕事を覚えるだけで過ぎた1年であったが、膨大な到着資料の整理や大学来訪者の対応、指定校推薦制度の整備やコロナ禍での大学見学会の準備などに追われ、本来したかった「学習改革」的な内容に全く着手できなかった。</p> <p>来年度は、生産性の低い仕事を自分なりに整理しつつ、今年はなかなか作れなかった各学年の担任や教科主任との連携を密にしながら、生徒たちが自己肯定感を持ち、前向きに自分の将来に向かっていけるような進路指導を展開していきたい。</p>
---

部署名	入試対策部	担当者	佐々木 哲也
-----	-------	-----	--------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月末までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1) 受験者数確保に向けての広報活動</p> <p>(2) 効果的な広報物を制作・活用</p> <p>(3) 情報の収集・共有化</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p style="text-align: center;">受験者数の安定的確保</p>

### 2. 令和4年度の実行内容 ※内容は4月末までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p><b>(1) 受験者数確保のための活動</b></p> <p>昨年度目標と同様に、受験者数 200 を確保するためには、昨年度よりも、もっと多くの保護者、生徒、塾・中学の先生に、上宮太子の名前と良さを案内し、知ってもらうことが必要。</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ多くの外部説明会に参加し、保護者・受験生に対して直接話をさせてもらった。校内行事や学校見学を通じて上宮太子に足を運んでもらい、より上宮太子に触れ、知ってもらうことで受験者数の増加に努めた。</li> <li>中学・塾訪問では、在校生の近況報告を詳細に行い、きめ細やかな指導をアピールすることで安心して送ってもらえるようにした。</li> </ul>
<p><b>(2) 効果的な広報物を制作・活用</b></p> <p>上宮太子への興味関心を持ってもらうには、ホームページやパンフレット、リーフレットなどが重要となる。広報係との連携のうえ効果的な広報物を制作し募集活動に活用する。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>高1生一人ひとりの元気そうな写真や、学校紹介DVD を、昨年度よりも早い時期に配布することができた。</li> <li>生徒作成のリーフレットは、かなり効果的であった。やはり、生徒の笑顔を前面に出すことが必要である。</li> </ul>
<p><b>(3) 情報の収集・共有化</b></p> <p>世間のニーズに合わせて、上宮太子の良さをアピールし、効果的な広報活動を行うことが必要。情報収集と情報の共有化を図り、教職員一丸となって広報活動が行えるようにする。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>渉外が外部から聞いてきた情報について、渉外担当者の中では共有できるが、校内の先生方との共有化ができていなかった。</li> </ul>

※**遂行度**： 各項目の進捗状況 / **達成度**： 各項目の達成・評価状況

※**評価基準**： 
 A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
 C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>中学・塾が独自でやっている説明会などに参加させてもらい、保護者や受験生に直接話ができる機会を作ってもらえるよう働きかける。出前授業や、中学・塾単位で実施している学校訪問に、太子を選んでいただけるようお願いする。</li> <li>プロジェクト会議に上がった意見をもとに、上宮太子の良さを再確認して、効果的なアピール方法を考える。</li> <li>今までやってきた、丁寧な中学・塾訪問のスタンスを崩すことなく、常に目的を明確にして訪問する。</li> </ul>
--

部署名	国 語 科	担当者	福 田 和 憲
-----	-------	-----	---------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新課程教授法の研鑽 および共通テスト、私立大学入試研究の継続的な研鑽</li> <li>・ICT 機器を活用した、生徒との双方向のやりとりを実現する授業形態の模索</li> <li>・生徒たちが国語を積極的に学びたいと思えるような「生徒目線」での関わり</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テスト平均点 (特進I類) 文系7割5分、理系6割5分以上</li> <li>・国語科全教員による、新課程の指導要領に沿った双方向のやりとり、表現力の育成を中心とした新しい授業形態の確立および共有</li> </ul>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>1、授業改革による生徒の読解力・表現力の向上</p> <p>① 生徒の学習定着をはかるための方策研究</p> <p>② 読解トレーニングと読解力向上への取り組み</p> <p>③ 職員同士での国語力向上についての意見交換</p> <p>2、各学年での学習指導内容の研究</p> <p>①特進I・II類 模擬試験・大学入試問題等を使用して生徒の到達度を確認 →共通テスト、国公立の大学入試に即応できる実力養成 難関私立大学への進学を視野に入れた実力養成</p> <p>②総合進学 →推薦入試への対応 小論文対策 →公募制推薦・一般入試に向けた対策 学習指導内容の改善 新学習指導要領に向けた授業改革 →アクティブラーニングの研究、授業への導入 →ロイロノートを軸とした、Ipad 活用法を研究した授業展開</p> <p>3、教員の研修活動への参加、教科へのフィードバック</p> <p>① 予備校・大学主催の研修会などへの積極的な参加 →入試の現状把握、教員のスキルアップ</p> <p>② 教科への研修活動のフィードバック →教科会での参加活動報告、または勉強会開催</p> <p>③「新課程研修会」「記述講座」「研究授業」など、教科内の教員による勉強会の実施</p>	B	B	<p>共通テストの内容も年々変化を見せる中で、新しい学力観を元にした指導を進める必要性は年々高くなってきている。引き続き意識を高く持って取り組みたい。</p> <p>やはり今年も各コース、各学年のマンパワー頼みの部分が大きく、それぞれの共有をもう少し進めるべきであった。共通テストについては、それほど大きな変化はなかったが、求められる情報処理能力は高くなっており、実用的文章への対応も含め、しっかり対応していくべきである。また、総合進学コースの対応が進んでいない事は大きな問題である。</p> <p>iPad の活用は、順調に進んでいる。来年度以降もこの流れを上手く授業改革に活かしていきたい。</p> <p>各学年、それぞれ工夫を凝らした形で授業を展開し、講習や授業中の小テストを実施している。小テストに関しては教科としてかなり定着してきたが、さらに成績伸長につながる授業改善を模索すべきである。教員の研修会への参加は、日々の業務に追われて低調であり、個々人でのブラッシュアップにとどまっていた。新課程も始まるので、来年度は教科内勉強会を最優先事項に取り組みたい。</p>
B	B		
B	B		
B	B		
C	C		
C	C		
C	C		
C	C		
C	C		

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった    B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでない    D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>今年度の新課程において、現代文と古典といった枠組みが大きく変わったが、やはり対応に苦慮した。特に小説分野をどう扱うか、来年度以降の継続課題である。</p> <p>今年度は、共通テストの新課程模擬問題も発表され、ここからは本校としても本格的な取り組みが必要な一年になりそうである。さらに、総合型選抜や学校推薦型選抜の拡充への対応も必要不可欠となってくる。</p> <p>国語科にとって、他教科の学習の基礎ともなる読解力を伸長することは必須の課題である。来年度からは主任も交代するので、新主任の新しい感性で、新しい時代の国語指導に向けて尽力してくれると思う。しっかり教科全体で取り組みを進め、新課程に向けた教員全体の情報共有、スキルアップも進めていきたい。</p>
---



部署名	社会科	担当者	松井 康浩
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1)授業の厳正化と社会科としての強化  (2)教科会の活性化  (3)大学入試問題の研究  (4)新カリキュラムへの対応と共に ICT の活用の在り方の研究</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標  新カリキュラムへの対応と共に ICT の活用の在り方の研究</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
(1)①「立腰」から始まる授業に集中できる雰囲気づくりをする ②社会科の授業が好きになる工夫をする ③特進コースは平均偏差値 60 以上、総合進学コースは平均偏差値 50 以上をめざす ④授業アンケートを意識した授業を実施し、総合評価で 80%を上回る ⑤社会科に関する研修会などへの積極的な参加。 ⑥高校3年生における社会科を入試で捨てさせない意識付け	A	A	社会科としての授業満足度は 93%と目標は達成できていると思われる。しかし、高校3年生における特に総合進学コースにおいては、社会科を受験科目としない生徒に対する授業展開に苦勞することとなっている。
(2)①教科会の可能な限りの実施と科目間の連携 ②授業見学会実施 ③思考力・判断力・表現力を意識した新課程研究	A B B	A C C	来年度に向けて、まだまだ課題が多いように思われる。
(3)①大学入学共通テスト、難関私立大学等の入試問題を研究し、高得点につながる科目担当者による研究	A	B	特に大学入学共通テストに向けては、歴史総合をどのように扱うかは、我が校だけでなく大きな課題と思われる。
(4)①新カリキュラムへ向けての研鑽 ②ICT 活用の在り方を研究	B B	C B	来年度からは、高校2年生で探究科目が入ってくる。新たな教材研究が必要であろう。

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

来年度から高校2年生に入ってくる「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」「地理総合」といった新しい科目に対しての教材研究が必要となってくる。また、大学入学共通テストにおける「歴史総合」の扱いの研究が今後取り組むべき最大の内容と思われる。
--

部署名	数学科	担当者	茶田 昌蔵
-----	-----	-----	-------

## 「より素晴らしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の厳正化</li> <li>2. 数学力の向上</li> <li>3. 教科会の活性化</li> <li>4. 研修への積極的な参加</li> </ol>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特進Ⅰ類, 特進Ⅱ類, 総合進学各コースにおける指導方針の統一</li> <li>2. 理系進学希望者の増強</li> <li>3. 理系大学進学率の向上</li> </ol>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
1. 授業の厳正化 ①個々のより深い教材研究と教材の共有 ②研究授業の実施 ③各コースの特性を見据えた指導計画と実践	A	A	・各教員が積極的に行っていた
2. 数学力の向上	C	C	・1回しかできていなかった
③各コースの特性を見据えた指導計画と実践	A	B	・概達成できていた。
2. 数学力の向上	B	B	・コースに応じた課題に取り組む事が出来た。
①家庭学習定着のための内容・量の適正化と推進	B	B	・概達成できていた。
②各学年の偏差値2ポイントアップを目指した模擬試験対策およびやり直しの徹底	B	C	・きめ細かくすることは出来ていない。
③能力に応じた補習、講習の実施	C	C	
④大学入試問題の研究・研修と生徒への還元	B	B	・各コースとも模擬試験対策などに時間を費やし
⑤特進Ⅰ類コースの国公立大合格率向上	B	B	徹底して指導したおかげで、全員ではないが、
⑥特進Ⅱ類コースの関関同立大学合格率向上	B	B	成績が向上する生徒が多く、概ね達成できていた。
⑦総合進学コースの一般入試合格率向上 (指定校・学校推薦型入試を有効活用するとともに、一般入試に対応できる学力をつける)	B	B	
3. 教科会の活性化	C	C	・教科会が連絡会に終ることが多く、満足のいく教科会にはならなかった。
①連絡の徹底と教科内の共通認識	C	C	
②教科における情報交換と研修	C	C	
4. 研修への参加	C	D	・教員の指導力向上が必要であったが、研修会などに参加することが出来ていなかった。
①アクティブラーニングやICTについての研修を受け、教授法を学び教科会で検討、導入していく。	C	D	
②新学習指導要領によるカリキュラム構成、評価方法を研修し、各コースの最適な授業実践計画を検討する。	C	D	

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>教科として、月に1度研究授業を行い、教員同士でスキルアップしたい目標があったが、今年度は行うことが出来なかったため、次年度への課題とする。</p>
--

部署名	理 科	担当者	石川 修二
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① 指導力の向上、授業内容の充実</p> <p>② 大学入試に対応できる学力の定着</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>ICT 機器を適切に利用した教材の研究</p> <p>観点別評価基準およびシラバスの検討</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 指導力の向上、授業内容の充実</p> <p>a 実験や観察による理科に対する興味・関心の向上、自然観を養成</p> <p>b 大学受験に向けた各学年における実力養成のための方法や課題の研究および実践</p> <p>c ICT機器を用いた授業や、機器内で使用する教材の研究、および新課程の研究</p> <p>d 進研模試や関西国公立、関関同立などの入試問題の研究</p> <p>e 観点別学習状況の評価基準の検討</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理化学を中心に実験を通して生徒の知識欲が増進した。</li> <li>・各科目、生徒の実情に合わせた課題の研究および実践に取り組んだ。</li> <li>・新課程導入により、各科目研究を継続している。</li> <li>・主に高3対象に反映させている。研究は今後も継続していく。</li> <li>・導入1年目につき、これまでの平常点基準の観点別への振り分けに留まる。</li> </ul>
<p>② 大学入試に対応できる学力の定着</p>	B	B	
<p>f 生徒の実情に合わせた補講習・単元テストの適宜実施</p>	B	B	
<p>g 「やり直しノート」の作成・提出、および復習の重要性を意識させる指導の徹底。課題の与え方の検討・改善</p>	A	A	
<p>h 個々の生徒に寄り添う指導の実践。</p>	B	B	

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
 [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新課程の学習内容に寄り添った指導及び教材の研究</li> <li>・よりわかりやすい授業のための教材研究</li> <li>・観点別学習評価の評価基準の検討</li> <li>・自学習につなげていく方法</li> </ul>
--

部署名	英語科	担当者	今塩屋誠
-----	-----	-----	------

## 「より素晴らしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>予習・授業・復習のサイクルを徹底させ、英語力を向上させる。</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>模試成績を総合進学コースは毎回1ポイント、特進コースは毎回2ポイント上げる</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>・①英語力の向上にむけて</p> <p>ロイロノートなどを使ってこまめに予習のノートチェックをします。総合進学は30分程度、特進は1時間程度の課題を毎回出します。(小テストの対策時間を含めて)それを平常点に加味します。</p> <p>復習のための小テストを総合進学クラスでは週に1回程度、特進クラスでは週に2回以上実施します。それを平常点に加味します。</p> <p>セブ島のオンライン英会話を1、2年生全クラスに導入していますが、授業でも音声を重視した指導をします。</p> <p>辞書を授業中に数回調べさせて、活用します。</p>	B	B	予習は出してロイロノートで提出させていました。総合進学の課題の設定が難しく、また提出をしない生徒がいます。
	B	C	小テスト実施は特進Ⅰ類・Ⅱ類ではできていますが、総合進学クラスでは毎週は出来ていません。
	A	A	ほとんどの生徒は楽しそうに取り組んでいます。2年特進クラスでは普通の英会話ではなく、レベルを上げたロジカルスピーキングにもチャレンジさせました。
	B	B	また、授業の英文を使って音読をロイロノートで提出させてネリーサ先生にアドバイスを貰っているのが毎年発音が上達しているように思います。
<p>② 他の先生方の授業を積極的に見学し、アドバイスを合えるようにします。</p>	D	D	普段の仕事が忙しく、見学の時間が取れていません。

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準：
A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった
B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった

C あまり進んでいない / あまり成果がでない
D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>持ち時間が多く、ほとんどの先生が毎日、小テストの採点と放課後の再テストに時間を取られているのが実情です。生徒を伸ばすために良い教材が出る度にいるため、その予習にも多くの時間がかかります。今後は、放課後の再テストを減らして、余裕のある授業計画をしたいと思います。</p>
---

部署名	保健体育科	担当者	鶴田 充功
-----	-------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動を通じて、社会生活に適応できる姿勢・礼儀などを習得する。</li> <li>・各種スポーツを通じて、技能向上と体力作り・協調性を習得する。</li> <li>・iPad、ロイロノート、デジタル教科書を活用した、授業も研究し、実践できるようにしていく。</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新興感染症への対応 (コロナウイルスに対する知識、予防方法、罹患時の対応など)</li> </ul>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
時間を守る 授業開始時間に遅れない	B	B	少しずつ改善している。
集団行動の様式の習得と実践(静と動) 挨拶・姿勢・集解散・方向変換・ラジオ体操	B	B	年々、集団行動の在り方や生徒の対応が悪くなっているように感じるが、今も昔もこういったものは変わってはいけないはず継続して指導していく。
服装を正す 忘れ物を無くす・腰パン・半袖シャツを出さない・体操帽着用	B	B	1年生は入学当初は意識が低いが、徐々に改善されていった。ここ数年忘れ物するものが増加している。
各種目の技術習得 個人技能と集団技能	C	B	競技ビデオなどを見せ、技術の習得の参考資料として活用し実技につなげた。
運動することの必要性、大切さ 生活習慣と生涯健康の関わりを理解する	B	A	保健の授業とリンクさせ、理解させていく。今後も継続していく。
各種目のルールの理解 ゲームの運営・ルール習得	B	C	自分の好きな競技については理解しているが、それ以外はほとんど知らないものが多い。ルールテストなどを活用し理解させていく。
ICTの導入 iPad、ロイロノート、デジタル教科書を活用した、授業も研究し、実践していく	C	B	iPad、ロイロノート、デジタル教科書を活用した、授業も研究し、実践できるようにしていく。
心肺蘇生法の習得 胸骨圧迫・AED使用方法	B	B	理解できているか把握しにくい但至少とも命の尊厳の観点からも協力、参加できるようになってほしい。

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準：
 

A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった	B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない	D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>来年度においても今年度取り組み内容を継続していく。          新興感染症への対応 (コロナウイルスに対する知識、予防方法、罹患時の対応など)          コロナの収束がなかなかすすまない中、共存も踏まえて引き続き指導していきたい</p>
--

部署名	芸術科	担当者	阪口 雅則
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>1. 行事への協力、取り組み。</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>2. 表現力を伸ばし、感性を磨き、豊かな心を養う。</p> <p>3. 評価、評定について協議する。</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>1. 行事への協力、取り組み。</p> <p>① 聖徳書道展への協力。</p> <p>② 芸能鑑賞等、教務部との連携。</p>	A /	A /	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①においては、入選の賞状を早く書き上げ、賞品と共に発送できた。はじめての体育館の展示およびパフォーマンスも良かったと思う。</li> </ul>
<p>2. 表現力を伸ばし、感性を磨き、豊かな心を養う。</p> <p>① 表現力を伸ばすための基礎技術の指導、および基本的な知識をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽 演奏（器楽、声楽）の基本技術の指導。 音楽史の学習。</li> <li>・美術 絵画表現（描写、着色）と立体表現の指導。 美術史の学習。</li> <li>・書道 楷書、行書における用筆法の指導。 書道史の学習。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音・美・書とも、今年度もコロナ禍であり、指導にそれぞれ工夫を凝らした。各科目に多少の人数差はあるものの、少人数での授業となったため、一人ひとりの生徒への指導が行き届いたと感じられる。</li> </ul>
<p>3. 評価、評定の方法について協議する。</p> <p>① 観点別学習状況の中で「知識・技能」、「思考・判断力・表現」についての研究。</p>	B	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別学習状況評価を行っているが、においては「知識・技能」と「思考・判断力・表現」に分かれているが、作品から判断するのに難しいところがある。継続して協議していきたい。</li> </ul>

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術（Iのみ）で何を学ばせるのか再度考えたい。</li> <li>・評価についてどうあるべきか、そして観点別学習状況評価の中で「知識・技能」、「思考・判断力・表現」について各科目ごとにより明確に出来るよう考えたい。</li> <li>・3年生総合コースで、来年度から「情報」と「生活の中の書」から（2単位）選択での実施が決定している。いずれ音楽、美術についても考えていきたい。</li> </ul>
---

部署名	家庭科	担当者	植田梨絵子
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① 家庭科に対する学習意欲の向上・発展</p> <p>② 実践的・体験的な活動を意識させ、生活を改善する意欲と態度を育成</p> <p>③ 男女共同参画社会を見据えた教育推進</p> <p>④ 教材の見直し・整備</p> <p>⑤ タブレット学習の実施計画</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>・ 将来へ興味関心を高める教材や授業の工夫</p> <p>・ 自己のライフデザインを自主的に進められる人材育成</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>①家庭科に対する学習意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材の内容を深め、関連した資料や情報を添付する。(本物志向の展開：本物を見て触らせる)</li> <li>未提出者等は催促し、必ず提出させる。</li> <li>他教科にも通じるような授業を展開する。</li> </ul>	A B C	A B C	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や副教材、資料、公的機関のウェブサイトなどから情報を選ぶようにしていたので、常に更新した情報を提供できた。</li> <li>未提出者に催促したが、一部不完全な状態が見受けられ徹底していきたい。</li> </ul>
<p>②実践的・体験的な活動を意識させ、生活を改善する意欲と態度を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりの体験的活動を通して、家族の人間関係や家庭の機能を理解させる。</li> <li>生活に必要な基礎的・基本的な知識・技術を身につけさせ、生活を工夫し創造する能力を育成する。</li> </ul>	B B	B B	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作のものづくりが年間1回なので、課題の中に動画作成なども取り入れて、「作品」を意識させた。</li> <li>できるできないではなく、やるやらないの差であることが分かったので、全員出来るようになった。</li> </ul>
<p>③男女共同参画社会を見据えた教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共に協力し、助け合えるよう自立を促す。</li> </ul>	A	A	
<p>④教材の見直し・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮して主体的に生活を営む能力を育てるため、自ら課題を見だし展開できる問題解決的な教材を検討する。</li> <li>情報化に対応し、生活と家庭科との関わり、情報手段の活用内容の充実を図る。</li> </ul>	B B	B B	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsも意識させていたが、上手く導かないと主体的に考えることができないので、思考のゴールをわかりやすく伝える教材・授業展開が必要があった。</li> </ul>
<p>⑤タブレット学習の実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育をすすめるためにデバイスの活用を促す。</li> <li>授業中に活用することで、意見の共有や刺激を受けるようアウトプットの回数を増やす。</li> </ul>	A A	A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロを活用した授業や課題を実践して、クラスメイトとのやり取りも増えていた。授業のメリハリもついて効果的だった。</li> </ul>

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>新しい学習指導要領に変わるので、新しい教材を準備し、現代の生活に沿った授業を提供する。また、主体的な意見や行動ができるよう、特進を中心に教材内容を吟味し、思考力が養われるような授業をしていきたい。ワークショップの回数も増やし、自分たちで問題解決に向けた取り組みも取り入れたいと考えている。</p> <p>他教科との連携ができていないのが例年の課題なので、まずは消費者教育の中の金融教育を社会科と教材の被りがないよう進めていきたい。また令和五年度は講演会も予定しているので、実りある講演にするためにも内容や資料なども精査して準備していきたい。</p>
---

部署名	情報科	担当者	須藤 秀裕
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>① より良い授業内容にするための検討</p> <p>② 新学習指導要領における教材研究</p> <p>③ 大学入試制度改革に関する情報収集</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>④ 大学入試科目への対応</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① より良い授業内容にするための検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習効果の高い実習課題の検討</li> <li>・ 座学で扱う内容の再構成</li> </ul>	B B	B C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度より、授業で扱う。</li> <li>・ あまり成果はなかった。</li> </ul>
<p>② 新学習指導要領における教材研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラミング教育に関する教材研究</li> <li>・ カリキュラムを含めた授業計画案の検討</li> </ul>	B B	B C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の成果はあった。</li> <li>・ 十分とは言えなかった。</li> </ul>
<p>③ 大学入試制度改革に関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「情報科」大学入試導入に関する情報収集</li> <li>・ 「情報科」大学入試導入に関する研修会への積極的参加</li> </ul>	B B	B B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の成果はあった。</li> <li>・ オンラインでの参加はできた。</li> </ul>
<p>④ 大学入試科目への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通テストに関する情報収集</li> <li>・ 共通テストへの対策</li> </ul>	B D	B D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定の成果はあった。</li> <li>・ 取り組めなかった。</li> </ul>

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>① より良い授業内容にするための検討</p> <p>② 新学習指導要領における教材研究</p> <p>③ 大学入試制度改革に関する情報収集</p> <p>④ 大学入試科目への対応</p>
--



部署名	宗教科	担当者	柴田 直毅
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①校訓、学順の理解</p> <p>②授業内容のさらなる充実</p> <p>③宗教行事の理解と実践</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>ICTを活用した授業の実践、自ら考えを表現できる力の育成</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 校訓、学順の理解</p> <p>(1) 授業を通じて「挨拶」の実践を徹底する。</p> <p>(2) 礼儀作法について学習、実践をする。</p>	B	B	<p>日々の挨拶、法然上人像への合掌礼など概ね実践できました。</p> <p>授業での合掌、立腰など全員が揃うことが難しい時があった。</p>
<p>② 授業内容のさらなる充実</p> <p>(1) 授業開始時の一枚起請文奉読を徹底する。</p> <p>(2) 生徒の理解に適した授業を展開する。</p>	B	C	
<p>③ 宗教行事の理解と実践</p> <p>(1) 授業において宗教行事の由来、意義を学習する。</p>	B	B	<p>1年生はモニターを見ながらの奉読なので、工夫が必要である。</p> <p>日々の生活、社会事象に応じた内容を教材として学習できた。</p>
<p>(2) ICTによる宗教行事の理解</p>	B	A	<p>生命の樹、追悼会、御忌式の意義を伝え、理解することができた。</p> <p>ロイロノートで意見を提出するなど、昨年より活用できた。</p>

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
 [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>浄土宗宗門校の研修会の当番校として、授業紹介など今後の課題、展開が見つかりました。</p> <p>生徒にとって興味関心を抱かせる授業を展開していきます。仏教読本以外からも積極的に教材を探し、ICTを活用して今までにない宗教の授業を展開していきたいです。</p>
---

部署名	第1学年	担当者	漁野篤史
-----	------	-----	------

## 「より素晴らしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協働力を高め、人道を知り、公共心を育む。</li> <li>2. 自律性を養い、自己効力感を高める。</li> <li>3. 知識を身につけ、好奇心を育み、基礎学力と学習習慣を身につける。 (70人以上に偏差値46以上、35人以上に偏差値52以上の学力をつける。)</li> </ol>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>校訓「正思明行」を体現した、自走できる生徒づくり (三五力の完成)</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
1. 協働力を高め、人道を知り、公共心を育む。 (1) 役割を与え、励まし、協力し合える環境を整える。 (学級活動の活性化) (2) 他人のために、できることを考えさせる。 (人権、宗教、青少年赤十字活動)	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技大会と校外学習において、実行委員会を組織し、一定の成果を上げた。</li> <li>・年度当初のオリエンテーション以外では、有効な指導ができなかった。</li> </ul>
	C	C	
2. 自律性を養い、自己効力感を高める。 (1) 自分達のことは自分達でできる様にする。 (日直・係) (2) 「やればできる」を合言葉に、達成感を感じる取り組みを行う。 (褒めて育てる)	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による朝礼、終礼を実施し、当事者意識の醸成に貢献できている。</li> <li>・前向きな姿勢で指導に当たっているが達成感を感じる取り組みは少ない。</li> </ul>
	C	C	
3. 知識を身につけ、好奇心を育み、基礎学力と学習習慣を身につける。 (1) 模試や定期考査に対する意識を高め、準備と振り返りの習慣を身につける。 (自由参加型の講習と表彰制度) (2) 学力不振層に対する強制補習の通年実施 (集い)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集いやマナビジョンを用いて、模試に対する高い意識を持たせることができている。</li> <li>・集いは一定の成果を上げている。</li> </ul>
	B	B	

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
                   C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

	目 標	国・数・英	国	数	英
偏差値46以上	70人	43人	67人	41人	40人
偏差値52以上	35人	16人	37人	18人	15人

・国語についてはおおむね目標は達成できている。他教科についても授業方法や講習 (thru)、補習 (集い) あるいは自学習 (BEMBU) をうまく活用し、成績向上に努めたい。

・規範意識の低い生徒が多いように感じるので、ルールを守ることの大切さや社会の一員であることを認識させるような取り組みを考えたい。

部署名	第2学年	担当者	茶田 昌蔵
-----	------	-----	-------

## 「より素晴らしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①校訓「正思明行」・学順の実践に基づいた人間力の向上</p> <p>②生徒・保護者・教員的意思疎通</p> <p>③基本的な生活習慣、学習習慣の確立</p> <p>④担任団・学年担当者・各分掌との連携・意思疎通</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>① 大学進学実績の向上</p>

### 2. 令和4年度の取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
①・校則遵守の徹底 (立腰、挨拶、服装、頭髪、言葉遣いなど) ・行事等では積極的に参加するよう促し、生徒一人ひとりに責任を持たせる。 ・探究学習を利用して、プレゼンテーション能力を身につけさせる。	A	C	・校則を遵守するよう指導をしてきたが、中々全員がきちりと守ることはできなかった。
・行事等では積極的に参加するよう促し、生徒一人ひとりに責任を持たせる。	B	C	・自発的に行動することができず、積極的に参加することはできていない。
・探究学習を利用して、プレゼンテーション能力を身につけさせる。	A	A	・全員が発表に向けて一生懸命に取り組んだ。
② 学期に1回は必ず生徒との二者面談を実施し、日々生徒の様子を把握して、保護者と常に連絡を密にする	A	A	・しっかりと生徒の状況を把握できた。
③・授業に対して真剣に取り組む姿勢を作るため、授業開始に立腰を行うことで心を落ち着かせる。	A	B	・概ね達成できていた。
・目標大学を明確にして、自学習の習慣を身につけさせ、家庭でも毎日机に向かって、復習・予習を自分でできるようにする。	B	C	・目標を定める生徒は増えてきたが、自学習に関してはクラスによって差がある。
・授業と補講習を充実させ、特進コースは国公立大学、総合進学コースは関関同立を一般入試で合格するだけの実力をつけさせる。	B	B	・成績が向上している。
④・担任団のみならず、学年担当者、教科担当者との連絡を密にして、情報を共有し、全職員が同じ方向性で指導にあたり、全員で生徒の夢・希望を応援する。	A	A	・概ね達成できていた。

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
 [ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>入試に向けて、明確に志望校を決めるべく 2 者懇談等を積極的に行い、生徒の進路確保のため、学習面で飛躍できるよう指導していく。</p>
--

部署名	第3学年	担当者	八内 宇弘
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>(1)校訓「正思明行」・学順の実践</p> <p>(2)生徒・保護者・教員の意味疎通</p> <p>(3)進学指導</p> <p>(4)担任団・学年担当者・各分掌との連携・意味疎通</p> <p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p>
---

### 2. 令和4年度の実行内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
(1)①法然上人の教え・校訓「正思明行」・学順を意識した生徒指導	A	A	(1)保護者・生徒ともに印象に残る卒業式を実施できたと感じる。
②参列者全員が感動の思い出に残る卒業式の実施	A	A	
(2)①家庭と学校との綿密な連携	A	A	(2)LHRなどで進路面談を中心的に行い、受験に向けて生徒の意欲を高めた。
②効果的なLHRや学年集会の実施	B	B	
(3)①『合掌』で授業を始めることによる落ち着いた環境づくり	B	B	(3)①概ね達成できた。
②競争することを意識した学習への取り組み	B	A	
③毎日の家庭学習の習慣の確立	B	A	
④定期考査前の補習の実施	A	A	
※総合進学コースの目標			②現状で甘んじることなく受験に望む生徒が多かった。
①良き生活習慣の確立	A	A	
②「産近甲龍」大学進学に向けた学力の向上	B	A	④学期ごとに補習を行い、定期考査に意識を向けることができた。
※特進Ⅱ類コースの目標			②毎日の勉強の成果もあり、第一希望の進路に進むことができた。
①良き生活習慣の確立	A	A	
②「関関同立」大学進学に向けた学力の向上	A	A	
※特進Ⅰ類コースの目標			②毎日の勉強の成果もあり、第一希望の進路に進むことができた。
①良き生活習慣の確立	B	A	
②国公立大合格に向けた指導	A	A	
(4)①学年担当者会議の可能な限りの実施	A	A	(4)概ね達成できていた。
②日常の会話による生徒の情報交換	A	A	

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった ]  
[ C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>学校生活の充実と第一希望の進路の実現を概ね達成できたと感じている。しかしまだ進学先が決まっていない生徒もあり、今後も続けて指導する必要がある。</p> <p>また今回の進学実績を踏まえて、34期生・35期生にも伝え、3年間を意識した生徒の成長につなげていきたいと考えている。</p>
--

部署名	人権教育	担当者	柴田直毅
-----	------	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①学年の現状に合わせた新しい教材を使った教案の作成 ②育てる人権教育の実践 ③いじめ防止対策委員会の年間計画に基づく人権教育の実践</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標 学校生活の中で人権問題(友達との関係、クラブ活動など)を認識する。</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>①教材の開発 生徒の実態を考慮した教材の開発 SNS、インターネットと人権などに関する新しい教材を開発する</p>	B	B	インターネット、SNSによるトラブル、SDGsについての学習動画を参照して、意見アンケートを実践しました。
<p>②育てる人権教育の実践 自他を理解した集団づくり(クラス、クラブ活動) 相手の立場、気持ちを理解する</p>	B	C	人権教育 LHR で学習したことが活かせず、相手に対して迷惑な行動、言動をする事象がありました。
<p>③生活アンケート 生活アンケートを各学期の最後に実施する、 差別、偏見をテーマにした人権教育 LHR の実践</p>	B	B	生活アンケートを基に、いじめ防止対策委員会を通じて、さまざまな意見、今後の対策を確認することができました。

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>生徒の実態を考慮した教材の開発を課題として、学習内容が活かされる人権教育を実施していきたいです。どうすれば、この行為は人権を侵害する、相手を傷つけると自覚させることができるのか？生徒に気づかせ、自覚させていく指導を検討していきたいです。</p>
---

部署名	保健管理	担当者	西巻 裕子
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健室の機能を充実し、保健管理の組織的推進を図る</li> <li>2. 自立的な健康の保持・増進の確立をめざした保健教育の実践</li> <li>3. 健康相談活動における心のケアと各分掌と連携、情報の共有化</li> <li>4. 学校保健組織活動の円滑な推進とチーム力の促進</li> </ol>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>学校医をはじめとする学校保健委員会の組織化、推進化を図る。</p> <p>Health care room (保健室のHP) 等で情報発信に努め、将来へ繋ぐ予防教育を実践する。</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<b>1. 保健室の機能を充実し、保健管理の組織的推進を図る</b> ① 感染症の予防と発生時の迅速な対応、学校保健情報の集約 ② 救急処置の迅速な対応と連携が取れるマニュアル化 ③ 配慮を必要とする生徒の支援について、個別のニーズに応じた支援のあり方を示し、共通理解を図る	A B A	A B A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校感染症は保健所や関係機関の指導を仰ぎ、健康観察、感染者発生時の情報収集と報告を迅速に行い、濃厚接触者の特定につなげた。感染予防対策の意識を高め、学校全体で取り組めたことでクラスター拡大を食い止めた。</li> <li>・日常的に生徒への声がけに努め、養護教諭間の連携が深まり、専門性を発揮することができた。個別のニーズに応じた支援が学年団との連携・協力のもと共通理解が図れた。</li> <li>・昨年度よりも活動の活発化に伴い災害発生事故は26%増加過換気症候群等、心因性により失神して担架で運ぶことが例年に比べかなり増加した。また、ODにより保健室で休養、教室へ入りづらい生徒が多く見受けられた。運動不足や生活習慣の確立、対人関係不安など、健康課題にも新型コロナウイルスがもたらす要因が顕著に表れていると考えられる。</li> <li>・Health care news 等で様々な最新情報を発信することはできた。生徒が興味をもてるようにクイズ形式など工夫をした。保健室のHP作成には至らなかった。</li> <li>・Blend を活用して入室状況や出席停止状況の入力を即時行うことは重負担であったが全教職員と情報共有に努めた。</li> <li>・心の問題を抱えていないか、保健室以外や学校行事等においても常に一人一人への声がけをして問題が隠れていないかを探った。また、気になる生徒がいた場合はSCに相談してアプローチを依頼、相談室を活用して、担任等とも連携を深めた。特にいじめや不登校に至らないように未然防止に努めた。SNS がトラブルの要因につながる事が多く、切り込んでいくことが難しい。チームとしての不登校支援は急務である。</li> <li>・生徒保健委員会活動を中心に、新型コロナウイルス予防やがん教育の新たな主体的な学び合い、情報発信となる実践ができた。特にクイズやアンケート集計、ポスター作りを行い、興味・関心が湧くような本校独自性に重点をおいた予防啓発活動、保健教育活動の企画ができた。</li> <li>・災害共済給付金業務を学園本部と連携して請求・給付業務を行った。細かい点においても日々連絡を取り合った。</li> </ul>
<b>2. 自立的な健康の保持・増進をめざした保健教育の実践</b> ① けがの予防、感染症や生活習慣病、がん教育等の予防教育(数値化をして具現化) ② 本校が抱える心身の健康課題を見出し、個別・集団的保健指導の実践、将来に影響を及ぼす健康問題を研究 ③ 保健室HPの充実、ICTを活用して、心身の健康に関する情報発信に重点的に推進、関係医療機関との連携	B B B	B B B	
<b>3. 健康相談活動における心のケアと各分掌との連携、情報の共有化</b> ① 心の問題を的確に把握するために生徒一人一人への声がけと全教職員との情報交換を密に図る ② SCと生徒指導部教育相談係、関係職員との組織的連携、共通理解を図る。(ICTを活用) ③ 不登校、いじめ事象等の迅速な把握と対応をめざす	A A A	A B A	
<b>4. 学校保健組織活動の円滑な推進とチーム力の促進</b> ① 学校保健委員会、労働安全衛生委員会の円滑かつ組織的運営の確立、臨時委員会の適宜開催 ② 生徒保健委員会の主体的な活動のサポート(本校独自性のある啓発活動、心身の健康に関する探究・学び合いと情報発信、評価につなげる) ③ 災害共済請求給付業務に関する学園本部との連携	B A B	B A B	

※遂行度：各項目の進捗状況 / 達成度：各項目の達成・評価状況

※評価基準： 
 A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
 C あまり進んでいない / あまり成果がでない      D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターコロナとなるが感染症発生時の迅速な対応、感染拡大の予防ができるように、引き続き健康観察を徹底して情報共有を図る。</li> <li>・健康相談活動では、養護教諭がコーディネートをを行いSCや担任・学年団、顧問等とチームとして連携・情報の共有化を図る。特に不登校支援、教室に入りづらい生徒のステップ支援を重点的に行う。</li> <li>また、生徒指導部主体でSCを中心とした教育相談業務の組織的推進をICTの活用で連携強化を図る。予約システムの改善が必要である。</li> <li>・将来の健康・保持増進のための健康教育活動となり得る「がん教育」「生活習慣病」等についても、学校医等の専門的機関への助言を仰ぎ、保健体育科と連携して、保健教育活動の取り組みを試みていく。そのために研修会に積極的に参加する。</li> <li>・生徒保健委員会活動では本校の健康課題に応じて主体的な学び合い、独自性のある予防啓発活動、保健教育活動の企画を目指す。</li> <li>・ICTの活用を見出し、保健室業務の効率化ならびに生徒保健委員会活動や心身の健康に関する情報発信においても重点的に推進していきたい。</li> <li>・スポーツ振興センター災害共済請求給付業務は学園本部と連携して迅速に請求・給付業務を行う。</li> </ul>
---

部署名	図書教育	担当者	植田梨絵子
-----	------	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①学校司書と協働した図書室の運営管理の充実</p> <p>②書籍の充実</p> <p>③委員会を主体とした読書活動の推進</p> <p>④図書室の利用生徒数の向上</p> <p>⑤図書室利用の連絡の徹底</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>・蔵書管理システムの有効活用と蔵書登録の完了・確認作業</p> <p>・レファレンス業務の定着</p>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 学校司書と協働した図書室の運営管理の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から紀伊國屋書店よりアウトソーシングすることによって業務の効率化や蔵書登録作業をすすめ、今年度で書籍登録を完了させる。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書登録や装備処理が進められ、すべての蔵書を登録することができたので、棚卸を実施することができた。不明図書や未返却本の督促も把握でき、管理が徹底できている。</li> </ul>
<p>② 書籍の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な視野から選書の提案をもらい、一層充実した書籍を選定していく。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報を拾い上げて選書してリスト化しているので、公共性も高まり、書籍のバリエーションが増えた。</li> </ul>
<p>③ 委員会を主体とした読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の条件を提示し、積極的に活動ができる生徒を募集し、図書室利用や読書推進に貢献する生徒を育てる。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動はできたが、計画が浅く徹底できなかったなので、細かな計画を立てて進めていきたい。また、アイデアなどを募って活動の幅を広げていきたい。</li> </ul>
<p>④ 図書室の利用生徒数の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の機会を増やすよう探究やHR、各教科での活用を促す。</li> <li>・自習をするスペースとしての活用を広げる。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部のクラスでは頻度が高まったがまだまだ先生方の活用意識が低いので、深めていけるよう提案や推進をしていく予定。</li> </ul>
<p>⑤ 図書室利用の連絡の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や行事で活用する際は、作業の計画が崩れないよう、また、利用をスムーズにするために、必ず司書教諭を通して連絡がいくように徹底する。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者との連携なので、事務所が行うのか、教務が行うのか徹底できてなかったので、きちんと伝えていきたい。</li> </ul>

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>まず、委員会活動の推進を中心に行いたい。蔵書管理は業務提携によってしっかりと管理されているので、レファレンス作業のほかに、推進活動を生徒主体に切り替えていきたいと考えている。その中で、広報活動を校内だけでなく、校外（太子町）への発信も行い、協働できる企画を提案していきたい。</p> <p>また、SNSを活用して「上宮太子高校図書室」への興味関心を広げていく。人目を惹く取り組みは、どんな分野でも注目しやすいため、上宮太子高校だけでなく、「#図書室」「#読書」などというキーワードで10代へのアプローチができればと考えている。</p>
--

部署名	広 報	担当者	田中 良和
-----	-----	-----	-------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度生徒募集につながる広報物の発行</li> <li>・ブログの更新回数や SNS を活用した効果的な広報活動の検討・実施。</li> <li>・近隣地域に向けた広報活動の充実。(道路沿いの横断幕、バス側面の広告等)</li> <li>・入試対策部及び新しい広報委託業者との連携強化。</li> </ul>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園財政を鑑み、広報効果が低い紙媒体や説明会ブースを削減し、広報費用のコスト削減を図る。</li> <li>・今後の広報戦略における立案を図る。</li> </ul>

### 2. 令和4年度取り組み内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
(1) 本校ホームページの更なる改良 ・広報委託業者と連携を図り、ホームページが利便性の高い状態を維持する。	B	B	委託業者との連携により、学校案内・ポスター・ホームページの作成及び運営を行うことが出来た。また業者と月1回の広報戦略に関する定例会を開催した。
(2) ブログの更新回数増加とアップ内容の精査 ・ホームページのアップ内容を精査し、日常的に学校の情報を発信することを目指す。	B	C	行事に関しては、内容の詳細が分かる文章と写真をアップし、内容の充実を図っている。インスタグラムは頻繁に更新が出来ていたが、HPのブログ更新は滞ることがあった。
(3) 近隣地域に向けた広報活動の充実 ・見やすく、インパクトのあるものを作成する。	B	B	今年度は懸垂幕の掲示と太子町広報誌への広告掲載を行った。今後も地元太子町へのPR活動を続けたい。
(4) SNS活用の検討 ・時代に合わせた広報活動を追究する。	B	B	さまざまな情報を集めながら研究をし、積極的に検討を進めた。
(5) 学園財政を鑑み、広報費用の見直し ・昨年度の実績をもとに費用対効果の高いものを選定し広報活動を行う。	B	B	概ね前年度通りのブース数及び広告本数で広報費用を抑えることが出来た。前年度の踏襲だけでなく、費用対効果の精査が必要である。

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： [ A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでていない      D 進んでいない / できていない ]

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報委託業者との連携のもと、学校の魅力の伝え方を模索していきたい。今年度、オープンキャンパス・入試説明会ともに参加者数が増加した。この成果を分析しつつ、本校を専願受験生として選択してもらえるような広報戦略が課題である。</li> <li>・新入生及び在校生に対するアンケートの集計・分析により、上宮太子の強みと課題を明確化することが出来た。広報物の作成時期を従来よりも前倒したスケジュールにより、入試対策部にとって外部にアピールする適当な時期に、必要な広報物が揃えられるような支援をしていきたい。</li> </ul>
---



部署名	事務室	担当者	松井 保
-----	-----	-----	------

## 「よりすばらしい上宮太子高校にするために」

### 1. 令和4年度の重点目標 ※4月30日までに記入

<p>(短期目標) ※本年度に取り組む目標</p> <p>①適切かつ的確な事務処理及びさらなる質の向上</p> <p>②企画・運営に関する事務</p> <p>③校内・教育環境のさらなる整備</p>
<p>(中・長期目標) ※数年計画で達成したい目標</p> <p>生徒獲得に向け、学校の課題を真摯に考え、時代や地域のニーズを踏まえた特色のある学校づくりを教員とともに実現していく。</p>

### 2. 令和4年度の実行内容 ※内容は4月30日までに記入 / 年度末評価は3月末までに記入

内 容	年度末評価		
	遂行度	達成度	成果と課題
<p>① 適切かつ的確な事務処理及びさらなる質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や生徒、保護者の意見を真摯に受け止め、きめ細やかに事務処理を行っていく。また、生徒及び保護者への対応についても、相手の立場に立ち、親身に接することを心がける。そして、安心できるような事務室としての役割を果たす。</li> <li>・上宮学園本部事務所との連絡を積極的にとり、相互の連絡ミスを防ぎ、業務の効率化を図る。</li> <li>・常に業務内容の必要性や効率性を考え、事務処理の質の向上に取り組む。また、業務改善が必要と判断すれば、速やかに改善策を模索し、改善に努める。</li> </ul>	B	B	<p>太子高校内においては周囲の声に耳を傾け細やかに対応することが出来ていると思われる。</p> <p>また、特に生徒・保護者対応に関しても安心していただけていると感じている。</p> <p>現状のレベルに満足することなく、更なる向上に努めたい。</p> <p>ただ、学園本部とのやり取りにおいては連絡が徹底されていない部分もあるので、今後の課題としたい。</p>
<p>② 企画・運営に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実態を的確に把握し、課題改善のハードルを調整すると共に、改善を図る。また、地域の課題にも目を向ける。教員と同じ方向を見据え、同じ目標を共有し、積極的に学校の課題を把握する。また、その課題の改善策を多面的かつ多面的な観点を踏まえながら、提案・実現していく。</li> </ul>	B	B	<p>また、課題の拾い上げに関してもさらにアンテナの感度を上げ問題提起から解決に向けて積極的に役割を果たしていきたい。</p> <p>環境整備に関しては校舎の外壁や体育館の屋根外壁改修と大きな案件があり、細やかな部分にまで手が回らない部分があった。今後の整備に向けて積極的に取り組みたい。</p>
<p>③ 校内・教育環境のさらなる整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒及び教職員がより安全かつ快適に教育活動に専念できるように進めていく。</li> </ul>	B	B	

※遂行度： 各項目の進捗状況 / 達成度： 各項目の達成・評価状況

※評価基準： 
A 予定通り進んだ / 顕著に成果があった      B ほぼ予定通り進んだ / 成果があった  
C あまり進んでいない / あまり成果がでない      D 進んでいない / できていない

### 3. 今後取り組む内容 ※3月末までに記入

<p>生徒及び教職員がより安全かつ快適に教育活動に専念できるよう事務教務の一体感をさらにブラッシュアップし、連絡の齟齬をなくし、積極的に学校運営に寄与していくことで、生徒・保護者、教職員の満足度を高めたい。ICT教育機器の導入が一巡し、落ち着いてきたところであるが、この利活用にまだまだ改善すべき点が見られる。この部分に関してもしっかりとかわりを持って情報収集・周知を始め様々な取り組みを試みたい。</p> <p>また、施設・設備の老朽化が進んでいるので、生徒に直接関わる部分や安全上、重要度の高いところから早めに改善を図りたい。</p> <p>さらに、地域の課題にも積極的にかかわりを持ち、地元に着目し地域から認められる学校として、さらに認知度を上げるため、積極的に活動したい。</p>
--

# 令和4年度 授業アンケート 分析

## 1. 実施時期

令和4年11月18日（金）

## 2. 対象学年

全学年

## 3. グラフについて

各項目に対して、「高い評価」・「やや高い評価」・「やや低い評価」・「低い評価」の4段階で評価をし、「高い評価」と「やや高い評価」を合わせた評価を肯定的評価と呼んでいます。

### ①教科別肯定的評価グラフ

各教科に所属している教員の肯定的評価の割合を示しています。

### ②質問別肯定的評価グラフ（※印は令和3年度から追加）

「授業マナー」…あなたは、この授業でマナー（私語・いねむり等をしない）を守っていますか？

「授業参加」……あなたは、自分なりの目標を持って、この授業に積極的に参加していますか？

「家庭学習」……あなたは、この授業に必要な家庭学習（予習・復習等）をしていますか？

「情報収集」(※)……この授業に関する課題や関心事項についてインターネットや図書等を活用して情報収集していますか？

「話し方」……先生の話し方や説明の仕方はわかりやすいですか？

「板書等」……先生の黒板やICT機器・プリント等の使い方（体育・芸術等は実技指導）は良いと思いますか？

「要点強調」……先生の授業は、重要なところが強調されていますか？

「授業難度」……授業の学習内容のレベルは、ちょうど良いと思いますか？

「授業速度」……授業を進めるスピードは、ちょうど良いと思いますか？

「理解確認」……先生の授業は、生徒の理解を確かめながら進められていますか？

「質問発言」……先生は、生徒の質問や発言を促し、ていねいに対応していますか？

「授業展開」……授業の進め方（組み立て）は、興味関心を引き、学習意欲をわかせると思いますか？

「教員熱意」……先生の授業に熱意を感じますか？

「公平対応」……私語などに対して適切な対応が取られ、公平で思いやりのある授業ですか？

「満足度」……この授業は、あなたにとって良い授業だと思いますか。

「授業成果」(※)……あなたはこの授業で学んだことを自分でまとめて表現できるようになりましたか？)

この内、「授業マナー」・「授業参加」・「家庭学習」・「情報収集」は生徒の自己評価になります。

#### 4. 分析

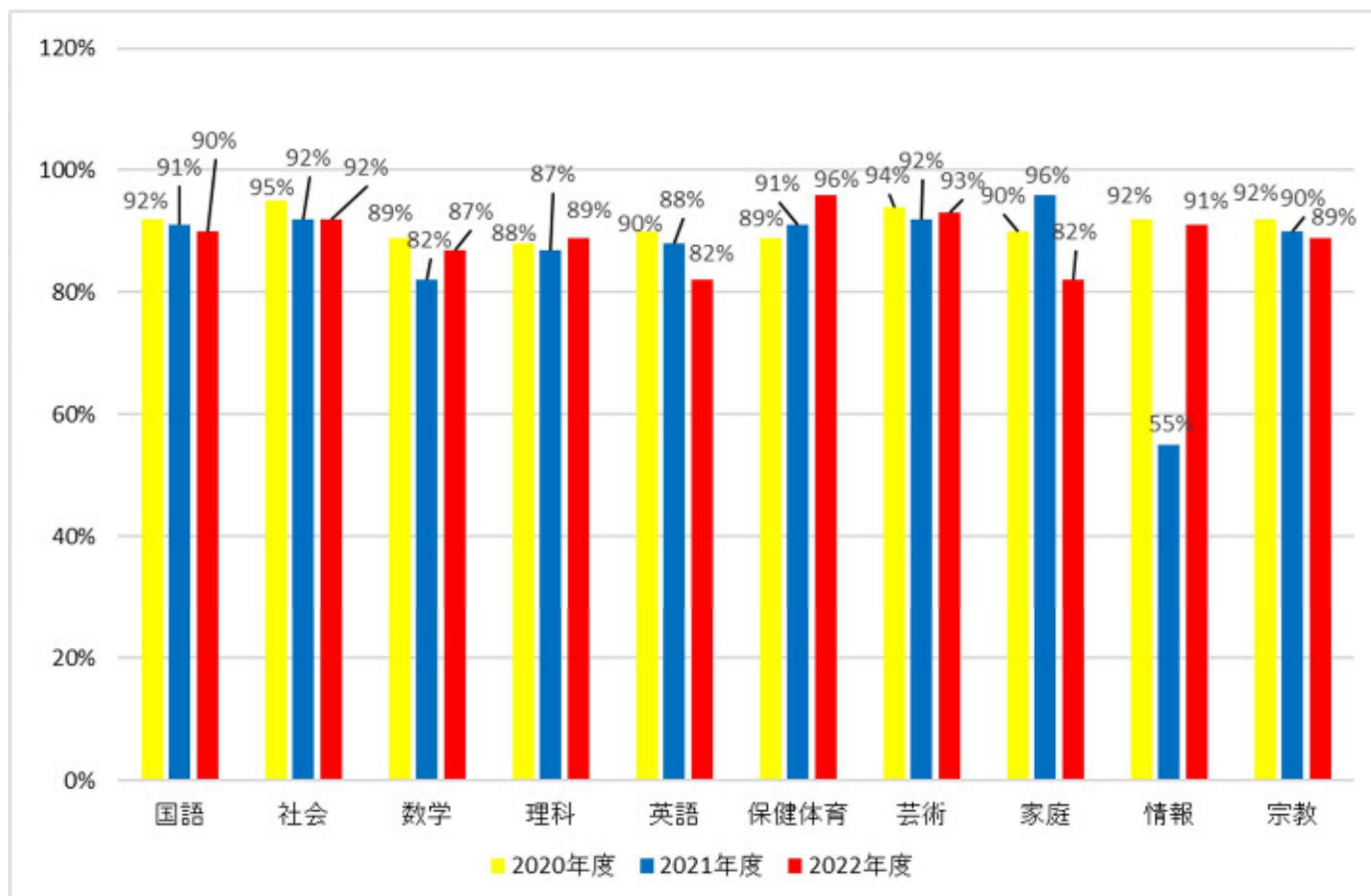
##### ①教科別肯定的評価

約6ヶ月間授業を実施して、生徒がどのような受け取り方をしているか、また、どこに問題点があるかを確認し、その後の授業に反映できるように行った。

ここに載せたグラフは、全教員の平均であり、かなり経験豊富な教員から経験がまだ少ない教員まで含まれている。各教科でお互いに情報交換をしながら、全体的にレベルアップをしていけるように活用したい。

教科別肯定的評価グラフにおいて、各教科とも80%以上になることを目標としている。今年度はすべての教科で目標の80%以上をクリアできているが、昨年度心配な結果となった情報科は大きく改善できている。また国語科と英語科においては僅かずつとはいえ連続して下降している点は注意が必要と考えられる。過去3年間のグラフを比較すると、全体としてはもともとかなり高い評価を受けているので、1～2ポイント下降することは容易にあり得るが、下降したという事実を軽く受け止めることなく、その原因をしっかりと考え次年度では必ず向上するよう期待したい。

令和4年度 授業アンケート (①教科別肯定的評価グラフ)



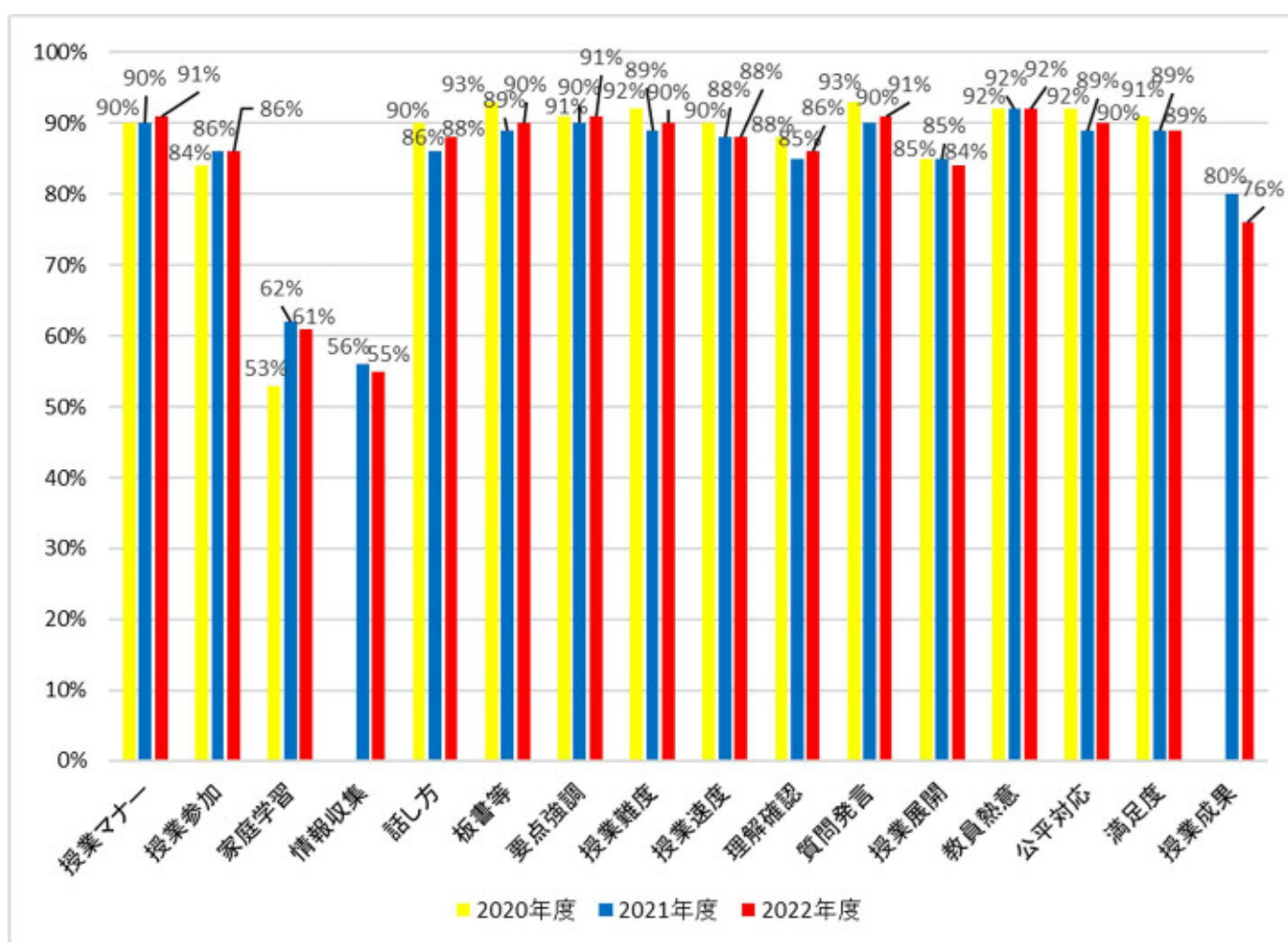
## ②質問別肯定的評価

質問別肯定的評価グラフにおいては、昨年度と同様に今年度の重点目標として家庭学習の習慣を掲げた。本年度は、数値的にかなり伸びた昨年度から僅かに下降したが、一昨年からの比較では順調に伸びている。このことから、ここ数年毎年目標としている家庭学習習慣の向上は、その取り組みが功を奏していると考えられる。(自己評価の「家庭学習」は実技教科を含んだ数値であるため40%以上が目安になるが、本年は61%)

他に、もう一つ、生徒の満足度を左右する「授業展開」の評価は他の項目に比べると、以前は評価の数値が低かった(70%台が多かった)が、ここ最近では80%台を守ることができている。また、今年度は全体として見れば、各項目で昨年度を上回る結果が多く出ており、評価できるポイントである。高い結果が出続けているということは、下降する可能性の方が高くなる傾向が出てくるが、そのことに甘んじることなく、各教科会等で話し合い工夫することが大切である。

後、昨年度から追加した「情報収集」と「授業成果」の2項目(3.グラフについて参照)については、昨今のインターネット社会における時代の変化から、自ら考え、自ら情報収集し、問題解決に当たることができる人材育成に繋がればとの思いからであるが、いずれも下降しており、今後はこれらの項目改善にも注意を払いたい。

令和4年度 授業アンケート (②質問別肯定的評価グラフ)



# 令和4年度 学校評価に関する報告書

上宮太子高等学校

## 1. 令和4年度年間目標

令和4年度の年間目標として、「浄土宗の教えを基盤としながら、卒業後の人生に役立つ人づくり、人間力の向上」という前提のもと、昨年に引き続き「礼節を重んじ、常識を身に着け、生きる力を養うこと。細やかな指導により学力面を向上させ、各コースからの大学合格者数の数値目標や英検の取得目標を実現させること。これらの実現に向けて各部署それぞれが連携して職務に取り組み、各教科が授業力の向上のために研究に取り組むこと。」を掲げた。

## 2. 各部署の目標と評価

### ①教務関係

#### 【重点目標】

1. 教務運営システムの整備・効率化
  - ・学校行事の確実な実施と改良
  - ・教務各係の業務内容の点検整備
  - ・教務内規の精査、改定、整備
  - ・新しい教務クラウドシステムの円滑な運営
2. 有効な指導体系の継続検討
  - ・新カリキュラム導入に向けた校内整備
  - ・ICTの導入による新しい教授法の検討
3. 国際理解教育の推進
4. オンライン授業の質向上

#### 【評価】

- ・各部署と連携をとり、先生方の協力のもとで行事を円滑に進めることができた。実務面で出た課題に対して、さらに内容の充実のために改善を図りたい。
- ・業務内容を明確化し、点検・整理を行った。教務クラウドシステム「BLEND」については成績処理の面で課題を残しており、今後に向けて改善を図りたい。
- ・観点別評価について本校の基本構造を作り、運営することができた。
- ・海外修学旅行・海外語学研修・イングリッシュキャンプは中止となった。オンライン英会話のみ実施することができた。
- ・ICT教育推進委員による校内研修やICT環境の整備により、全教員のスキルアップに繋がった。

### ②生徒指導関係

#### 【重点目標】

1. 悩みを持つ生徒が、楽しく学校生活を送れるようにする
2. 生徒会活動、委員会活動、広報活動、クラブ活動の活性化
3. 生徒指導の推進と問題行動の予防強化、生徒の道徳意識、規範意識の向上
4. いじめの防止、不登校や配慮を要する生徒への取り組み
5. 生徒の愛校心の向上

#### 【評価】

- ・校内研修会は年に1回実施しているが、日程や時間の調整が難しく教員の出席数が十分ではない。日程や実施回数など次年度に向けて検討していきたい。
- ・たくさんの行事を運営するにあたり、教員数が少なく、できることに限りがあるため協力体制の改善が必要である。
- ・クラブ会議等を実施することにより、部活主導による学校全体の活性化に繋がる案を作成していきたい。
- ・次年度に向け“生徒指導に関する実践内容”の改訂を実施した。なお、今後に向けて大阪私学連盟で得た情報を校内で活かす為の会議等を開催していきたい。
- ・頭髪、服装検査は毎月実施することができた。更に方法の改善を検討していきたい。
- ・いじめ防止基本方針の改定を行った。

### ③進路指導関係

#### 【重点目標】

1. 進学実績の目標達成（3年）
  - ・国公立大 目標 20 以上
  - ・関関同立 目標 18 以上
  - ・産近甲龍 目標 100 以上
2. 基礎学力の向上（1、2年）
  - ・進研模試偏差値 ss52 以上を学年の2割以上  
ss46 以上を学年の5割以上
  - ・模試の事前・事後指導、結果分析
  - ・家庭学習の推進
3. 「iPad が動く学校」の展開への意欲的な挑戦
  - ・iPad の新しい使用法の模索
4. 主体性を育む教育
  - ・探究活動の推進
5. その他
  - ・生産性の高い進路指導体制の構築
  - ・生徒の主体性を引き出す授業の研究と啓蒙

#### 【評価】

- ・国公立大 目標 20 以上 → 実績 17
- ・関関同立 目標 18 以上 → 実績 32
- ・産近甲龍 目標 100 以上 → 実績 122
- ・進研模試偏差値 ss52 以上を学年の2割以上 →8%（1年）、12%（2年）  
ss46 以上を学年の5割以上 →22%（1年）、49%（2年）
- ・「Microsoft365」の整備は完了したが、「ロイロノート」以外の拡充は今後の課題である。
- ・探究活動は協力業者との業務連携により推進しているが、今後も改善を進めたい。
- ・データ整理等の煩雑な業務に追われる面があるが、各学年の担任や教科主任との連携を密にしたい。

### ④入試対策関係

#### 【重点目標】

1. 受験者数の安定的確保に向けての広報活動
2. 効率的な広報物を制作・活用
3. 情報の収集・共有化

#### 【評価】

- ・できるだけ多くの外部説明会に参加し、保護者・受験生に対して直接話をさせてもらった。校内行事や学校見学を通じて上宮太子に足を運んでもらい、上宮太子に触れ、知ってもらうことで受験者数の増加に努めた。中学・塾訪問では、在校生の近況報告を詳細に行い、きめ細やかな指導をアピールすることで安心して送ってもらえるようにした。
- ・一年生一人ひとりの元気そうな写真や、学校紹介 DVD を、昨年度より早い時期に配布することができた。生徒作成のリーフレットはかなり効果的であった。やはり生徒の笑顔を前面に出すことが重要である。
- ・渉外が外部から聞いてきた情報について、渉外担当者の中では共有できるが、校内の先生方との共有化ができていなかった。

### ⑤教科

#### 【重点目標】

- ・授業の厳正化、および学力、指導技術の向上
- ・新学習指導要領への対応と ICT 活用の研究
- ・大学入試問題等の研究推進及び対策

#### 【評価】

- ・教科により、教員間の情報共有や意見交換は行われているが、研修会への参加はなかなか進んでいない。
- ・家庭学習定着のための課題は工夫が進んでいる。また、補習・講習は各教科ともに積極的に実施しているが、生徒の学力に応じたきめの細かい設定等により一層の工夫が求められる。
- ・各教科共、教授法の改善には関心が高い。特に「ロイロノート」や「パワーポイント」等 ICT を用いての授業が大きく前進し、効果が実感できている。
- ・共通テストに代表されるように大学入試問題の内容が年々変化し、新しい学力観を求めている中、各教科それぞれに意識を高く持って研究・分析に取り組んでいる。
- ・実技教科においてはコロナ禍の中、工夫を凝らして実践されていた。また、ICT 活用の研究も進んでおり、効果が見られる。ただ、観点別学習状況評価については作品から判断するのは難しく、継続して協議が必要である。

### ⑥学年

#### 【重点目標】

1. 校訓・学順の実践に根差した基本的生活習慣の確立
2. 公共心、協働性、自律性を育てる。
3. 各学年に応じた学力定着、家庭学習の確立
4. 担任団・学年担当者間・各分掌・保護者との連携

#### 【評価】

- ・各学年とも年度当初の目的は概ね達成できた。基本的な生活習慣の確立については、学年を通じて今後も取り組んでいきたい。
- ・生徒による朝礼・終礼の実施や、球技大会や校外学習などの学年主体の行事において実行委員会を組織することにより当事者意識が芽生え一定の成果を上げている。
- ・学年の進行に応じて工夫がなされ、学習の成果が出つつある。特に3年生は各コースとも最後まで諦めずに受験し、合格を勝ち取った生徒が多くいた。
- ・「ロイロノート」や「BLEND」等の活用により、学年内での情報共有や保護者との連携も昨年度より更に進展した。

## ⑦その他

### 【重点目標】

1. 現代の社会環境の変化に則した新しい教材の使用による、“育てる人権教育”の実践
2. 保健管理の組織的推進、自立的な健康の保持・増進、健康相談活動の充実
3. 学校司書との協働による図書室の運営管理の充実と生徒の利用促進
4. ブログや SNS の活用、近隣地域に向けた広報活動の充実、入試対策部との連携強化
5. 校内・教育環境の更なる整備

### 【評価】

- ・現代の生徒を取り巻く環境を考慮し、インターネットや SNS によるトラブルについての学習動画を使った実践ができた。
- ・学校感染症は保健所や関係機関の指導を仰ぎ、健康観察、感染者発生時の情報収集と報告を迅速に行い、濃厚接触者の特定につなげた。感染予防対策の意識を高め、学校全体で取り組めたことでクラスター拡大を食い止めることができた。
- ・蔵書登録や装備処理が進められ、すべての蔵書を登録することができたので、棚卸を実施することができた。管理が徹底できていることにより、生徒の利用環境が改善してきている。
- ・広報依託業者との連携のもと、学校の魅力の伝え方を模索していきたい。今年度、オープンキャンパス・入試説明会ともに参加者数が増加した。この成果を分析しつつ、本校を専願受験生として選択してもらえそうな広報戦略が課題である。また、新入生及び在校生に対するアンケートの集計・分析により、上宮太子の強みと課題を明確化することができた。
- ・校舎の外壁や体育館の屋根・外壁等、快適に教育活動ができるように改修を進めた。今後も生徒に直接関わる部分や安全上、重要度の高いところから早めに改善を図りたい。さらに、地域の課題にも積極的にいかかわりを持ち、地元に着目し地域から認められる学校として、さらに認知度を上げるため、積極的に活動したい。

## 3. 授業アンケート・保護者アンケート

授業アンケートは2学期に1回実施し、各教員の授業力の向上を図った。また、今年度は同時期に保護者アンケート（3年に1回実施）も実施した。資料については別紙に記載している。



## 令和4年度に関する学校関係者評価報告書

上宮太子高等学校  
学校関係者評価委員会

### 1. 令和4年度自己評価結果について

令和4年度学校関係者評価は、昨年に引き続き学校評価関係者が一堂に会して評価を行う従来の方法で実施することができた。

今回使用した資料は以下の通りである。なお、令和4年度は3年に一度実施している保護者アンケート実施の年に当たっていたので、その集計結果についての資料も加えた。

1. 学校評価に関する規定
2. 『学校評価』について(職員用資料)
3. 令和4年度 学校評価に関する報告書
4. 令和4年度 授業アンケート分析
5. 令和4年度 保護者アンケート集計結果について

まず、令和4年度の年間目標として、「浄土宗の教えを基盤としながら、卒業後の人生に役立つ人づくり、人間力の向上」という前提のもと、昨年に引き続き「礼節を重んじ、常識を身に着け、生きる力を養うこと。細やかな指導により学力面を向上させ、各コースからの大学合格者数の数値目標や英検の取得目標を実現させること。これらの実現に向けて各部署それぞれが連携して職務に取り組み、各教科が授業力の向上のために研究に取り組むこと。」を掲げ、その目標に向けて各部署それぞれが年間目標を作成し、実施できた内容と課題を10月の中間報告および年度末の報告において評価した。これらのまとめを上記3の報告書に掲載し、その内容が報告された。結果はあくまでも自己評価であるため、部署によっては若干の評価基準の差異が生じている面も存在する。

上記4の「授業アンケート分析」については、例年11月に全生徒を対象に実施している内容が報告され、その結果に基づいた資料の説明と分析結果が提示された。各評価の年次変化を追うため質問項目は例年通りとした。結果については昨年度を上回る結果が多く出ており概ね安心できるものであるが、生徒の自主性に繋がる項目についてはより改善されるよう工夫が必要である。ここで出た結果は、今後、担当者個人や教科会等で検討、活用されるものである。

上記5の「保護者アンケート集計結果」については、3年に一度授業アンケートの時期に合わせて実施しており、その結果が報告された。本校の教育理念や仏教の教えに基づいた教育の実践に対して満足していただいている項目が多いことは安心できるが、学習面や設備の面などに対する期待の大きさに答えるべくさらなる努力が必要である。

## 2. 令和4年度 自己評価結果についての評価

「各部署の目標と評価」に関しては、各部署ともに細かく適切な目標設定をし、各項目に対して適切に対処していると評価できる。また、各部署間で連携をとりコロナ禍という通常とは異なる状況下で、その都度うまく対応しているようだ。ただ、部署によっては継続的に改善すべき課題、検討中の課題、時代の流れに合わせて新たに考慮すべき課題も出てきているようなので、今後とも研鑽をしてより良い学校にしてもらいたい。ICTの活用が進んだことで、学校・保護者・生徒間の連絡も円滑に行える環境が整ってきていることはすばらしいと言える。

教務関係では、各部署と連携をとり、教員間の協力の下で行事を円滑に進めることができている点や実務面で出た課題に対して改善を図ろうとしている点は評価できる。コロナ禍の影響もあって海外修学旅行や海外語学研修が実施されなかったことは残念であるが、英語の授業の中で行われているオンライン英会話のことを聞き、国際理解教育が進められていることに安心した。

生徒指導面では、いじめ・不登校等に対する取り組みについて詳しくわかっていなかったが、生活アンケートや保健室・学校カウンセラーとの連携による学年を中心としたチーム対応や、学校として生徒の出席状況を把握し共有する取り組み、起立性調節障害の生徒に対する配慮の具体化などの説明を聞かせていただいたことで良い印象を持つことができた。また、行事において少ない教員数で運営していただいている状況に対して保護者会としてできることは協力していきたい。

入試対策面では、新入生の写真や学校紹介DVD、生徒作成のリーフレットなどの配布や、上宮太子に来校して良さを知ってもらおうとする様々な努力の成果が、令和3年度入学者数(4クラス)に比べて令和4年度入学者数(6クラス)が増えたことに表れており評価できる。卒業生の子や兄弟姉妹が多く入学している事実は、安心して通わせることができる学校であることの証だと言えるので、同窓会の入学支援とともに、もっとアピールするべきではないか。上宮太子の魅力をもっと生徒に伝えて口コミで広めることや、オープンキャンパスの申し込み期間や詳細な情報をホームページに掲載しておくなど細やかな工夫を積み重ねることで更に成果が上がるのではないかと期待したい。

各教科、各学年での指導面においては、ロイロノートやパワーポイントなど ICT を用いての授業が前進し効果が実感できている点、年々変化している大学入試問題に対して意識を高く持って研究・分析に取り組んでいる点、学年主導の行事において生徒の主体性を育てる工夫が実を結びつつある点、BLEND の活用により学年内での情報共有や保護者との連携が進展している点などは評価できる。補習(特に英検講習)は他の行事との兼ね合いによって回数が少ない時期があるようなので工夫していただきたい。

「授業アンケート」および「保護者アンケート」に関しては、先生の熱意や生徒の満足度などほとんどの項目で毎年高い水準を維持していることは評価できる。生徒の家庭学習面が伸びておらず、ICT を活用した教材や課題の作成を工夫されているようであるが、更なる改善をお願いしたい。今後とも、安心して受けることができる授業であると生徒に感じてもらえるように、これらの取り組みが継続されることを期待している。

### 3. その他

以上の他に、同窓会保護者会としてできることはどんどん協力していくという有り難いご意見もいただいた。また、施設整備の予定や防犯、事故に対する備えについてのご質問をいただいた。危険と思われる部分の改修を最優先に、グラウンドの芝生化も視野に入れている事や、防犯マニュアルのこと、AED の設置や授業での救命救急の実技など現在とっている対策の説明を行い一定の評価はいただいたが、より安心して生徒が学校生活を送れるように取り組んでいかなければならない。更に、ICT の活用がいろいろな効果をもたらしていることは評価できる反面、人間関係が希薄にならないか心配されるというご意見もいただいた。ICT を活用していく上で、人間教育の部分をどれだけ盛り込めるかという点にも留意しながら取り組んでいくべく、今後とも努力を重ねていきたい。